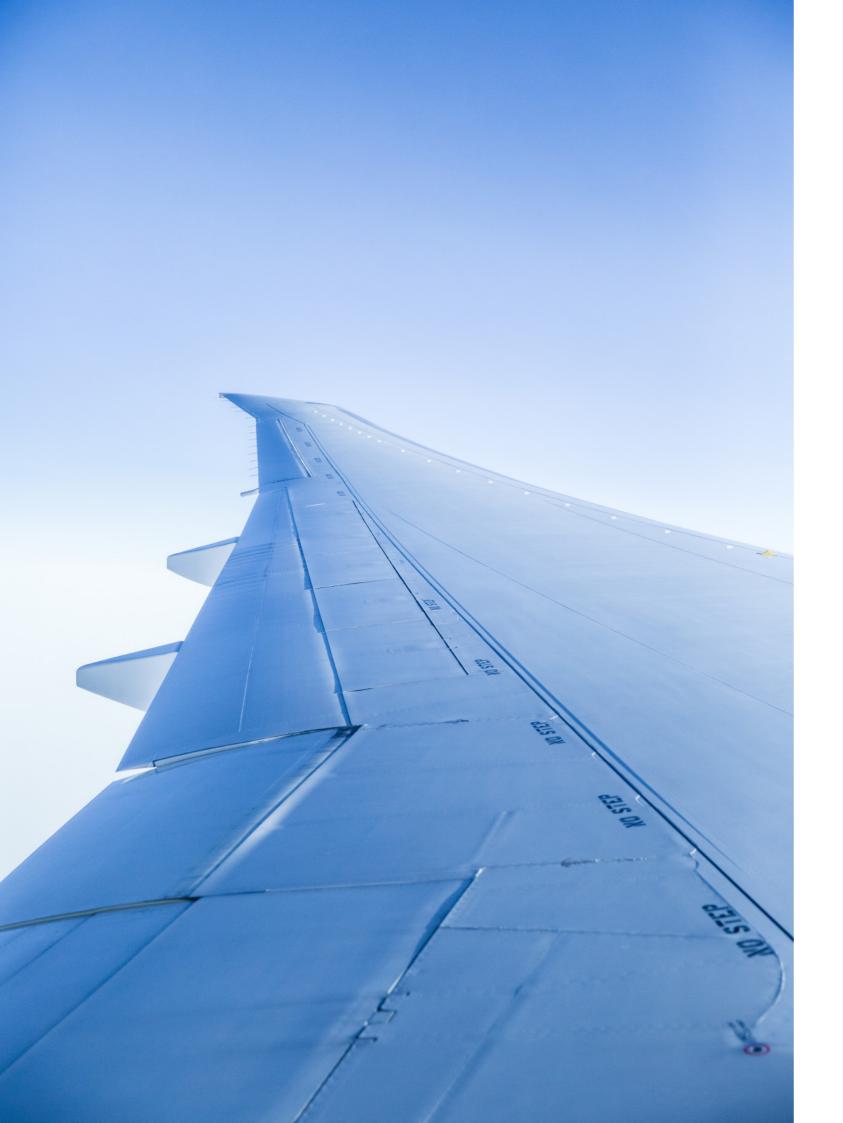


東大から世界へ

東京大学 留学・国際交流ガイドブック 2016

海外留学・海外インターンシップ・国際ボランティア



$Local \times Global = \infty$

世界を知るということ

2015年も、語学力も国際経験も十人十色の東大生が、一歩を踏み出し、海外へ飛び出しました。 それはある人にとっては小さな一歩であり、またある人にとっては大きな一歩だったことでしょう。 世界を知り、また世界を知ることで日本を意識し、

世界の友人からの刺激と友情を胸に日本に戻った東大生たち。 彼らは、これまでの環境で身につけた能力に、海外での経験というスパイスを加え、 一味も二味も違う学生に成長し、決意を新たにそれぞれの場所で活動を始めています。

みなさんも、小さくて大きな、世界への第一歩を踏み出してみませんか。



CONTENTS

留学・国際交流プログラムの種類 …… 04

1. 全学交換留学 …… 06

概要/募集サイクル/(国際本部担当)応募状況

2. 東京大学交換留学協定校一覧(全学·部局間) ······ 08 全学·部局別/地域·国別

3. 3ヶ月未満の留学(大学を通じて応募するもの) …… 14

概要/募集サイクル/プログラム一覧
・教養学部前期課程 主題科目「国際研修」…… 16
・各学部・研究科などで実施されるプログラムの例…… 17

4. その他の留学(個人応募での留学など) …… 18

5. 留学体験談 …… 20

6. 留学の計画と準備 …… 26

学部での全学交換留学 留学時期のパターン(実例) …… 27

留学等における学籍・単位認定など …… 28

外国の大学において取得した単位の取扱いに関する規則(学部学生) ····· 28 外国の大学において取得した単位の各学部・研究科の取扱い例 ····· 29

留学にかかる費用 …… 30

英語能力試験 …… 30

7. 学内でできる国際体験 …… 31

8. 留学と就職活動 …… 32

9. 大学院留学 …… 33

10.海外留学等奨学金 ····· 34

奨学金の種類/例/探し方/主な海外留学等奨学金一覧

「Go Globalにチャレンジする東大生に社会が期待しています!」…… 36

11.海外インターンシップ・ボランティア …… 38

概要/主な実施団体

12.体験活動プログラム …… 40

13.安全と危機管理 ····· 41 14.東京大学の留学・国際交流関係部署 ····· 42

15.よくある質問 …… 43

16.留学・国際交流に関する情報収集 …… 44

グローバルキャンパスで知的リーダーへ成長を

東京大学理事・副学長 羽田 正



「グローバル化」という言葉は、すでに空気のようなキーワードになりつつありますが、その一方で、大学のグローバル化はまだ始まったばかり、これからもますます盛り上げていく必要を実感しています。本学は2014年度に、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」に採択されました。これをうけて、この事業の軸である世界トップ大学との戦略的パートナーシップを中心に、多様な価値観と背景を持った学生・研究者たちが、互いに切磋琢磨するグローバルキャンパスの実現に向け、様々な国際的学習・研究の機会を提供しています。

思えば私の学生時代には、留学と言えば多くの場合、自分ですべてをアレンジして大学を休学するしかなく、単位互換も読み替えもなかった時代で大変ハードルの高いものでした。今の学生には、留学等に関する相談窓口があり、大学からの集約された情報提供、充実した海外渡航保険や危機管理サービス等、また、協定大学への授業料不徴収を伴った交換留学や様々な奨学金制度など、手厚いサポートが提供されていて、羨ましく感じることもしばしばです。交換留学以外にも、本学が推奨・紹介する短期プログラム、海外インターンシップ、海外ボランティア等に参加すれば、自身の視野を広げスキルアップする良い経験となるでしょう。さらに、国内のキャンパスでも、少し気をつけて情報を集めると、世界中から集う学生との交流の機会が数多く見つかるでしょう。これは世界の優秀な人材が集う本学ならではの特典です。

海外留学を決めた学生の皆さんにお願いが三つあります。一つ目に、留学中は皆さんが東京大学の顔になることに誇りを持って勉学に励んでいただきたいこと、次に、留学先で本学を含め日本への留学を希望する学生に出会ったら是非彼らを支援していただきたいこと、最後に、帰国後はぜひ皆さんの経験を学内外でシェアし友人や後に続く人たちへの応援をお願いしたいことです。多様な価値観の中で、人とのつながりを大切にして善意の連鎖を産み出してゆくことも、グローバル化の進むこれからの世界に生きる皆さんの大切な素養の一つと信じるからです。

皆さんが、本学が提供するあらゆる機会を有効に活用し、「世界の多様な人々と共に生き、共に働く力を持った」(東京大学ビジョン 2020より)知的リーダーへと成長されることを心から期待します。

留学・国際交流プログラムの種類

留学・国際交流プログラムには、以下のように様々なものがあり、各自の目的、希望する留学先、期間、予算などによって、様々な形で国際体験を積むことができます。最適な方法を検討してください。



1. 全学交換留学

交換留学のメリット

- ①東京大学の協定校への留学だから安心 東京大学の協定校は評価の高い教育機 関です。事前に多くの情報が得られ、現 地でのサポート体制も充実しています。
- ② 留学先の協定校では授業料の支払いが不要 留学先の授業料が不要になる代わりに、 留学期間中の身分は「休学」ではなく「留 学」となり、東京大学の授業料は納める必 要があります。(大学院学生の場合、その 活動の実態により「留学」又は「研究指導 の委託」の手続きをとることになります。)
- ③協定校では交換留学生として優遇される 協定校の交換留学生という特別な立場 で留学するので、宿舎を優先的に確保し てもらえるなど、特段の配慮をしてもらえ るケースが多くなっています。
- ④協定校で取得した単位を東京大学の単位として認定できる可能性がある

認定の基準は、部局により異なるため、 所属部局や修得した科目によっては認定 されない場合もありますので、留学時の 所属部局の担当部署に事前に相談する 必要があります。(P28参照)

⑤ 留学期間が卒業に必要な在学期間として カウントされる

留学期間は東京大学卒業のために必要な在学期間に算入することができますので、場合によっては、留学しても4年で学部を卒業することも可能です。(P28参照)

留学時期

- ●1学期間あるいは1年間(留学先の協定校の学年暦(Academic Year)に基づく)
- ●海外の大学は一般的に、1学期目:秋学期(8-10月開始、12-2月終了)、2学期目:春学期(1-2月開始、4-6月終了)の2学期制のところが多くなっています(例外あり)。例えば、2016年の秋学期(1学期目)~2017年の春学期(2学期目)という海外大学の1学年(Academic Year)を2016-2017年期(AY2016-2017)と呼びます。
- ●1年間の留学を希望の場合は、原則として秋学期(8-10月開始)からの1年間となりますが、春学期が学年暦の1学期目となる大学については、春学期開始の1年間の留学として応募することが可能です。

主な資格・条件(一例)

- ●留学期間を通じて東京大学の正規課程に 在学する者(留学期間内に東京大学を卒業・修了する者、留学期間内に東京大学の 学部から大学院に進学する者は対象外)
- ●協定校が定める交換留学生の資格・条件を有すること。(語学能力・分野など)

応募方法

募集要項を熟読の上、所属する部局の担 当部署に必要書類(主な書類:申請書・推 薦書・語学力の証明書など)を提出 ※英語能力の証明書としては、受験日から2年以内のTOEFL iBTまたはIELTS(アカデミック・モジュール)のみ受け付けます。 (英国の大学への留学を希望する場合はIELTSのみ受付可)

選考方法

学内選考

各部局から推薦された学生について、第 一次選考(書面審査)、最終選考(面接審 査)により東京大学本部での学内選考を 行います。最終選考は、第一次選考を通 過した学生のみを対象として行われます。

協定校での審査(書面審査)

学内選考を通過した学生は協定校が定める申請書類を改めて作成し、その書類をもって東京大学が留学先の協定校へ推薦し、協定校での審査が行われます。協定校での審査を通過すると、留学決定となります。

募集時期

① 7~10月頃

→翌年の秋季(8月~10月頃留学開始)・ 翌々年の春季(1月~4月頃留学開始)分を 墓集

①′12月~1月頃(追加募集)

→秋季(8月~10月頃留学開始)・翌年の 春季(1月~4月頃留学開始)分を募集 ※①の募集で大きく枠が余った場合のみ募集

② 4月~6月日

翌年の春季(1月~4月留学開始)分を募集 ※前年度の①と①、の募集で余った派遣枠、及び②の募集 までに新たに加わった協定校の募集

全学交換留学募集サイクル

※一般的なサイクルであり、留学開始時期等は協定校によって異なります。

※2016年4月現在の予定であり、変更される場合があります。 ※部局間の交換留学については部局ごとに異なります。



全学交換留学(国際本部担当) 応募状況

(2016年3月現在)

			5-20		期					16年		±\				16年		4 88 4/	(0)			17年	期	
- HID			目募:		学内	派遣	者数		日寿日請者		加募領学内		者数	-	計者		期留等		者数	` .	日募 請者		学内	派遣者数
国·地域協定校		第一	第二	第三	内定		大学院	第一	第二	第三	内定	学部	大学院	第一	第二	第三	内定		大学院	第一	第二	第三	内定	学部 大学院
	同士去区上兴	希望	希望	希望	者数			希望	希望	希望	者数			希望	希望	希望	者数			希望	希望	希望	者数	
台湾	国立公通大学	0	2	2	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0 0
台湾 中国	国立台湾大学 上海交通大学	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	未定 未定
中国	清華大学	2	3	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	0	5	1	1	未定 未定
中国	南開大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
中国	北京大学	4	0	0	4	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	1	4	未定 未定
香港	香港大学	1	2	2	2	2	0	2	1	0	3	2	0	1	2	1	1	0	1	4	0	2	3	未定 未定
インドネシア	ガジャマダ大学	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	1	0	0	0 0
韓国	高麗大学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
韓国	ソウル大学校	2	0	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0 0
韓国	浦項工科大学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
韓国	延世大学校	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
マレーシア	マラヤ大学	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		/	0	0	0	0	0 0
フィリピン	フィリピン大学		_	_	/	_	_	/		##		/	/	/	/					1	0	0	1	未定未定
シンガポール	シンガポール国立大学(NUS)	4	5	1	3	3	0	/		- 暴事	をし /						なし			5	1	3	3	未定 未定
タイ ブラジル	チュラロンコン大学 サンパウロ大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
チリ	チリ大学	1	1	0	1	0	1	U	U		U なし	U	U	U	U		[U] [なし	U	U	0	1	0	0	0 0
チリ	チリ・カトリック大学	3	1	0	3	3	0	0	0	 	0	0	0				ミなし 			1	0	0	1	未定 未定
カナダ	トロント大学	10	13	5	3	3	0	Ť			 [なし									12	4	2	2	未定 未定
カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学(UBC)	7	5	8	5	3	1				を を を し						- - - - - - - -			5	4	1	5	未定 未定
カナダ	マギル大学	4	4	1	3	2	0				<u></u> なし						<u> </u>			2	3	2	3	未定 未定
アメリカ	イェール大学	4	0	0	4	0	1			募集	基なし					募集	 [なし			1	0	0	0	0 0
アメリカ	イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校	4	5	4	6	6	0			募集	なし					募集	なし			3	2	1	4	未定 未定
アメリカ	スウァスモア大学	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1	5	0	1	未定 未定
アメリカ	プリンストン大学(学部)	23	0	1	1	1	0			募集	 なし					募集	なし			9	0	0	1	未定 未定
アメリカ	プリンストン大学(大学院)	5	3	0	2	0	1	3	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0			募集	なし	
オーストラリア	アデレード大学	0	1	3	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	未定 未定
オーストラリア	オーストラリア国立大学(ANU)	3	5	5	4	2	0			募集	をし			0	0	0	0	0	0	5	5	1	4	未定 未定
オーストラリア	クィーンズランド大学(UQ)	1	3	5	1	0	1			募集	なし			1	0	1	0	0	0	2	1	1	1	未定 未定
オーストラリア	シドニー大学	_	_	_	/	_	_	_	_	_	_	_	_	0	1	0	0	0	0	0	3	2	2	未定未定
オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学(UNSW)	7	1	2	2	0	0	0	0	<u></u> 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
オーストラリア	メルボルン大学 モナシュ大学	1	4	6	6	5	1				€なし 			1	0	1	1	0	0	3	4	1	5	未定 未定
ニュージーランド	オークランド大学	1	4	/	/	1	1	/		秀 オ	-40	/	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0 0 未定 未定
ニュージーランド	オタゴ大学	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
デンマーク	コペンハーゲン大学	5	3	1	5	3	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	3	1	4	未定 未定
フィンランド	ヘルシンキ大学	4	5	1	5	3	1	3	0	0	1	1	0				 [なし			1	2	0	1	未定 未定
フランス	エコール・ポリテクニーク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			募集	 [なし			1	1	0	2	未定 未定
フランス	EHESS(社会科学高等研究院)	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	未定 未定
フランス	ストラスブール大学	2	0	0	2	2	0	1	0	0	1	0	0			募集	 なし			3	1	0	3	未定 未定
フランス	パリ政治学院(シアンスポ)	3	4	2	3	3	0			募集	なし					募集	なし			11	3	2	4	未定 未定
ドイツ	ケルン大学	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
ドイツ	ベルリン自由大学	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	1	2	0	0		未定 未定
ドイツ	ミュンヘン・ルートヴィヒ・マクシミリアン大学	2	0	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0		未定 未定
アイルランド	ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン	/	/	/	/	/	/	/	_	/	/	/	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
オランダ	フローニンゲン大学	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	未定未定
オランダ	ライデン大学	2	0	2	2	2	0	2	0	0	1	1	0	1	0	0 草#	1	1	0	2	2	2	2	未定未定
ロシア スウェーデン	サンクトペテルブルク大学 ウプサラ大学	0	2	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	券 1	をし 0	0	0	2	0	0	0	未定 未定 0 0
スウェーデン	スウェーデン王立工科大学(KTH)	0	3	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	-	未定 未定
スウェーデン	ストックホルム大学	1	2	3	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	未定 未定
スウェーデン	ルンド大学	/	/	/	/	/	/	/	7	/	/	/	/	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0 0
スイス	ジュネーブ大学	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1	1	0	0	0	0	3	1	0		未定 未定
	スイス連邦工科大学チューリッヒ	-	0	0	E	0	2	0	_	0	0	0	0											
スイス	(ETH Zurich)	6	2	0	5	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	2	1	1	4	0	4	5	未定未定
英国	エクセター大学	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	1	1	1	未定 未定
英国	サウサンプトン大学	3	3	1	1	1	0				長なし						なし			1	2	1	2	未定 未定
英国	シェフィールド大学	10	3	0	4	4	0			募集	なし					募集	なし			3	1	0	2	未定 未定
英国	ダラム大学	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	_	_		/	_	1	1	1		未定 未定
英国	ロンドン大学東洋アフリカ学院	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0 0
英国 合計	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	128	90	57	90	58	16	21	8	1	12	7	1	17	11	0	9	5	1	108	1 66	33		未定未定
		120	JU	57	89	30	10	41	0	1	12	1	1	17	11	4	9	J	4	100	00	33	09	未定 未定

※学内内定者=学内選考通過者 ※派遣者=実際に留学した者

2. 東京大学交換留学協定校一覧

「全学·部局別」

※2016年2月1日現在、交換留学を実施するため、東京大学が学生交流覚書を締結している協定校を掲載している。

ただし、覚書の更新や取扱いの検討等により調整中につき掲載されていない協定校があることや掲載されていても当該年度に交換留学を実施していない場合もあるため注意すること。

※上限枠欄に記載されている数は最大枠であり、実際の募集枠は各公募の際の協定校との調整により決まる。従って、実際の募集枠とは異なるので注意すること。

※(*)は全学学生交流覚書の上限枠を表す。

※担当部局ごとに取扱いが異なるため、詳細は担当部局に確認すること。

国際本部担当(全学交換留学)

国·地域	協定校	対象	上限枠
台湾	国立交通大学	学部/院	5
台湾	国立台湾大学	学部/院	20
中国	上海交通大学	学部/院	6
中国	清華大学	学部/院	10
中国	南開大学	学部/院	6
中国	北京大学	学部/院	12
香港	香港大学	学部/院	6
インドネシア	ガジャマダ大学	学部/院	予定
韓国	高麗大学	学部/院	6
韓国	ソウル大学	学部/院	6
韓国	浦項工科大学校	学部/院	4
韓国	延世大学	学部/院	5
マレーシア	マラヤ大学	学部/院	6
フィリピン	フィリピン大学	学部/院	予定
シンガポール	シンガポール国立大学	学部	6
タイ	チュラロンコン大学	学部/院	6
ブラジル	サンパウロ大学	学部/院	6
チリ	チリ大学	学部/院	2
チリ	チリ・カトリック大学	学部/院	6
メキシコ	エル・コレヒオ・デ・メヒコ	学部/院	6
カナダ	トロント大学	学部/院	6
カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学	学部/院	10
カナダ	マギル大学	学部	6
アメリカ	イェール大学Fox International Fellowship Program	院	若干名
アメリカ	イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校	学部	10
アメリカ	スウァスモアカレッジ	学部	6
アメリカ	プリンストン大学	学部/院	10
オーストラリア	アデレード大学	学部/院	6
オーストラリア	オーストラリア国立大学	学部	10
オーストラリア	クィーンズランド大学	学部/院	6
オーストラリア	シドニー大学	学部/院	6
オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学	学部/院	6
オーストラリア	メルボルン大学	学部/院	10
オーストラリア	モナシュ大学	学部/院	6
ニュージーランド	オークランド大学	学部/院	4
ニュージーランド	オタゴ大学	学部/院	6

国·地域	協定校	対象	上限枠
デンマーク	コペンハーゲン大学	学部/院	10
フィンランド	ヘルシンキ大学	学部/院	6
フランス	エコール・ポリテクニーク	学部/院	6
フランス	グルノーブル・アルプ大学	未定	予定
フランス	EHESS(社会科学高等研究院)	院	3
フランス	ストラスブール大学	学部/院	6
フランス	パリ政治学院	学部/院	6
ドイツ	ケルン大学	学部/院	4
ドイツ	ベルリン自由大学	学部/院	4
ドイツ	ミュンヘン・ルートヴィヒ・マクシミリアン大学	学部/院	6
アイルランド	ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン	学部/院	6
オランダ	フローニンゲン大学	学部/院	4
オランダ	ライデン大学	学部/院	6
ロシア	サンクトペテルブルク大学	学部/院	4
スウェーデン	ウプサラ大学	学部/院	6
スウェーデン	スウェーデン王立工科大学	学部/院	14
スウェーデン	ストックホルム大学	学部/院	4
スウェーデン	ルンド大学	学部/院	8
スイス	ジュネーヴ大学	学部/院	10
スイス	スイス連邦工科大学チューリッヒ	学部/院	20
英国	エクセター大学	学部/院	4
英国	サウサンプトン大学	学部	6
英国	シェフィールド大学	学部/院	10
英国	ダラム大学	学部/院	5
英国	ロンドン大学東洋アフリカ学院	学部/院	6
英国	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	学部/院	6

各部局で担当するもの

国·地域	協定校	対象	上限枠
	法学政治学研究科·法学部		
中国	北京大学法学院	院	1
中国	北京大学国際関係学院	学部/院	2
韓国	ソウル大学校法科大学院	院	1
アメリカ	ハーバード・ロースクール ※受入のみ、派遣なし	院	2

国·地域	協定校	対象	上限枠
	医学系研究科·医学部		
台湾	国立台湾大学医学部	学部	2
台湾	台北医学大学医学部	学部	2
アメリカ	ジョンズホプキンス大学医学部	学部/院	2
アメリカ	ペンシルバニア大学医学部	学部/院	3
アメリカ	ミシガン大学医学部	学部/院	3
アメリカ	コーネル大学医学部	院	3
ドイツ	ミュンヘン・ルートヴィヒ・マクシミリアン大学医学部	学部	2
スウェーデン	イエテボリ大学	学部/院	3
	工学系研究科・工学部		
中国	北京航空航天大学電子情報工程学院航空科 学与工程学院 ※新領域と担当	学部/院	1
中国	浙江大学	学部/院	5*
中国	西安交通大学	学部/院	5
中国	大連理工大学	学部/院	5
中国	同済大学院 ※新領域と担当	学部/院	5
中国	北京交通大学	学部/院	3
中国	福州大学化学学部	学部/院	4
香港	香港理工大学	学部/院	2.5
インド	インド工科大学マドラス校	学部/院	5
インド	インド工科大学ハイデラバード校	学部/院	6
インド	インド経営大学院バンガロール校	院	2
インド	インド工科大学カラグプール校	学部/院	3
インドネシア	インドネシア大学公衆衛生学部[UEHAS]	学部/院	1.5
インドネシア	バンドン工科大学[UEHAS]	学部/院	3
韓国	韓国科学技術院工科大学/生命科学技術大学 (KAIST)	院	5
韓国	高麗大学工学部	学部/院	2
韓国	ソウル大学校工科大学	学部/院	5
シンガポール	ナンヤン工科大学工学部	学部/院	3
シンガポール・ 中国	"シンガボール国立大学設計・環境学部 同済大学 建築・都市計画学院 清華大学 建築学院 [AMU] ※修士のみ対象 ※新領域と担当"	院	4
タイ	アジア工科大学院	院	5*
タイ	チュラロンコン大学工学部[UEHAS]	学部/院	5
タイ	タマサート大学国際工学部(SIIT)	学部/院	5
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校理科大学	学部/院	3
アラブ首長国 連邦	マスダール科学技術大学	学部/院	5
トルコ	中東工科大学工学部	学部/院	5
トルコ	イスタンブル工科大学理工学部	学部/院	2
オーストラリア	南オーストラリア大学情報科学技術工学環境学部	院	2
オーストラリア	ロイヤルメルボルン工科大学	学部/院	2
オーストラリア	クイーンズランド工科大学理工学部	学部/院	2
ニュージーランド	カンタベリー大学工学部	学部/院	2
	ウィーン工科大学	院	5
オーストリア		24 to 185	5
オーストリア	グラーツ工科大学	学部/院	-
	グラーツエ科大学 デンマークエ科大学	学部/院	3
オーストリア			

国·地域	協定校	対象	上限枠
フランス	加ルペイス セントラルスープレック(エコール・セントラル・パリ)	学部/院	5
	エコール・デ・ミン・ド・ナント	于印/ 版	3
フランス	(Ecole des Mines de Nantes)	学部/院	2
フランス	フランス国立応用科学院リヨン校	学部/院	5
フランス	エコール・ミン・パリ	学部/院	5
フランス	エコール・デ・ポン・パリテク	学部/院	3
フランス	航空宇宙高等学院(ISAE)	学部/院	3
フランス	国立民間航空大学校(ENAC)	学部/院	1
フランス	エコール・セントラル・リヨン	学部/院	3
ドイツ	シュツットガルト大学	学部/院	5*
ドイツ	カールスルーエ大学	学部/院	5
ドイツ	ミュンヘン工科大学	学部/院	5
ドイツ	ダルムシュタット工科大学	学部/院	2
ドイツ	フリードリヒ・アレクサンダー大学エアランゲン・ ニュルンベルグ工学部	学部/院	3
ドイツ	アーヘン大学 ※理学系と担当	学部/院	6
イタリア	トリノエ科大学 ※情報理工と担当	学部/院	5
イタリア	ミラノエ科大学	学部/院	3
イタリア	聖アンナ大学院ロボティックス研究所[GSDM]	学部/院	3
オランダ	デルフト工科大学機械・海洋・マテリアル工学部	学部/院	3
オランダ	トエンテ大学	学部/院	1
ノルウェー	ノルウェー工科自然科学大学	学部/院	2
スペイン	マドリッド工科大学建築学部	学部/院	2
スペイン	バレンシア工科大学	学部/院	2
スウェーデン	チャルマーズ工科大学	学部/院	5
スウェーデン	ルレオー工科大学 ※修士のみ対象	院	5
スウェーデン	リンシェピン大学理工学部 ※情報理工と担当	学部/院	2
スウェーデン	スウェーデン王立工科大学[GME]	学部/院	2.5
スイス	スイス連邦工科大学ローザンヌ(EPFL)	学部/院	3
スイス	チューリッヒ大学理学部・経済学部 ※情報理工と担当	院	5
EU	"ミュンヘン工科大学、パリ・ラヴィレット建築大学、 サンリュック大学、リスポン工科大学、シントルー カス大学" [AUSMIP] ※修士のみ対象 ※新領域と担当	院	10
その他	"シントルーカス大学建築及び都市計画学部、フランス国立パリ建築大学ラビレット校、リスボン工科大学建築学部ミュンヘン工科大学建築学部 Building Realization & Informatics講座、ソフィア建築・土木・測地学大学、ソウル大学校工科大学建築学科・建築工学科、成均館大学工学部建築工学科・u-Cityデザイン工学科、メルボルン大学建築・設計・計画学部、オークランド大学創造芸術産業研究所建築・都市計画学部"[AUSMIP+] ※博士のみ対象 ※新領域と担当	院	注
	人文社会系研究科・文学部		
中国	山東大学儒学高等研究院·韓国研究中心	学部/院	1
中国	北京大学歴史学系 ※総合文化と担当	院	1
香港	香港中文大学文学院	学部/院	5
インド	デリー大学	院	1*
韓国	ソウル大学校人文大学	院	2
韓国	釜山大学校人文大学	院	2
イラン	テヘラン大学	院	5*
フランス	エコール・ノルマル・スューペリュール	院	1*

次ページへ続く

 $_{
m page}\,08$

		I	1
国·地域	協定校	対象	上限枠
フランス	エコール・ノルマル・スューペリュール (リヨン校)	院	1
ドイツ	ベルリン自由大学(歴史文化学部、他) ※総合文化と担当	学部/院	5
イタリア	ピサ高等師範学校	院	2*
イタリア	フィレンツェ大学	院	3*
英国	マンチェスター大学人文学部	学部	若干名
	理学系研究科·理学部		
アメリカ	カリフォルニア大学	学部	2
韓国	ソウル大学校自然科学大学	院	5
スウェーデン	ルレオー工科大学 Department of Computer Science, Electrical and Space Engineering	学部/院	4
チェコ	南ボヘミア大学水産・水系保護研究院	学部/院	5
ドイツ	アーヘン工科大学 ※工学系と担当	学部/院	6
ロシア	サンクトペテルブルグ国立大学	学部/院	15
ロシア	ロモノーソフ記念モスクワ国立大学	学部/院	15
	農学生命科学研究科・農学部		
台湾	国立台湾海洋大学	院	3
台湾	国立中興大学獣医学院	院	3
台湾	台北医学大学公共衛生栄養学部	学部/院	2
台湾	国立屏東大学獣医学院	学部/院	3
中国	四川農業大学	学部/院	3
中国	中国農業大学	学部/院	2
中国	東北林業大学	院	2
中国	南京農業大学	学部/院	3
中国	南京林業大学	院	2
中国	北京林業大学	院	2
中国	天津農学院	院	2
中国	 	学部/院	5
中国	│ │ │中国科学院大学資源環境学院	学部/院	5
中国	東北師範大学地理科学学院	学部/院	5
インド	タミルナードゥ農業大学	学部/院	5
インドネシア	パジャジャラン大学	学部/院	3*
インドネシア	 ガジャマダ大学	学部/院	2
インドネシア	ボゴール農科大学	学部/院	3
インドネシア	ムラワルマン大学	院	3
インドネシア	ランプン大学農学部	学部/院	3
韓国	ソウル大学校農業生命科学大学	学部/院	3
韓国	金慶大学校水産科学大学	学部/院	3
韓国	釜慶大学校環境海洋大学	学部/院	3
韓国	建国大学校獣医学部	学部/院	3
モンゴル	モンゴル国立農業大学	学部/院	3
スリランカ	ルフナ大学	学部/院	3
タイ	カセサート大学獣医学部・農学部・林学部	院	2
タイ	コンケン大学農学部	院	3
ベトナム	ベトナム国立農業大学	院	3
ベトナム	カントー大学	学部/院	5
			3
ニュージーランド	マッセイ大学	院	
フィンランド	アールト大学(旧:ヘルシンキエ科大学)	院	2
フランス	アグロパリテック(旧:パリーグリニョン国立農学院)	院	5

国·地域	協定校	対象	上限枠
ドイツ	カールスルーエエ科大学	院	5
ポーランド	クラクフ農科大学	院	2
ポーランド	ワーミヤ・マズリー大学	学部/院	2
スウェーデン	スウェーデン農科大学	院	3
英国	エジンバラ大学獣医校	院	3
	経済学研究科·経済学部	'	
フランス	HEC経営学院(HEC Paris)	学部/院	7
ドイツ	フランクフルト大学	学部/院	3
スウェーデン	ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス	学部/院	2
英国	マンチェスター大学人文学部	学部	2
英国	ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリ	院	2
	ディカル・サイエンス ※博士課程のみ対象 総合文化研究科・教養学部		
中国	南京大学国際合作交流処 ※AIKOM	学部	5
中国	復旦大学外事処 ※AIKOM	学部	5
中国 シンガポール	後旦人子外争処 ※AIKOM シンガポール国立大学人文社会学部 ※AIKOM	学部	2
ノンハホール		→□D	²
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校付属人文社会科学 大学 ※AIKOM	学部	5
チリ	チリ カトリック大学 ※AIKOM	学部	5
アメリカ	スウァスモア大学 ※AIKOM	学部	5
アメリカ	ワシントン大学教養学部 ※AIKOM	学部	2
アメリカ	ジョンズホプキンス大学クリーガー教養学部 ※AIKOM	学部	2
アイルランド	トリニティカレッジ ダブリン大学 人文・人間科学・社会科学部 ※AIKOM	学部	2
イタリア	ローマ大学 ラ・サピエンツア 東洋研究学部 ※AIKOM	学部	1
スイス	ジュネーヴ大学 ※AIKOM	学部	2
英国	ウォリック大学 ※AIKOM	学部	2
台湾	国立政治大学歴史学系	院	2
台湾	国立政治大学台湾史研究科	院	2
台湾	国立交通大学社会文化研究所	院	2
中国	華東師範大学思勉人文高等学院	院	2
中国	北京大学歴史学系 ※人文社会系と担当	院	1
韓国	韓国外国語大学校東洋語大学・日本語大学	学部/院	2
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校付属人文社会科学	学部/院	5
マイリナ	大学	Re	_
アメリカ	ニューヨーク大学大学院総合文化研究科	院	5
フランス	パリ第7・ディドロ大学	学部/院	5*
フランス	パリ第8大学	学部/院	5*
ドイツ	ベルリン・フンボルト大学	学部/院	2
ドイツ	マルティン・ルター・ハレ・ヴィッテンベルク大学第 一哲学部	学部/院	5
ドイツ	ベルリン自由大学(歴史文化学部、他) ※人文社会系と担当	学部/院	5
ロシア	ロシア国立人文大学	学部/院	1*
	教育学研究科·教育学部		
スウェーデン	ストックホルム大学教育学部	学部/院	2
	薬学系研究科・薬学部		
中国	瀋陽薬科大学	院	3
アメリカ	テキサス大学M.D.アンダーソンがんセンター	院	5*
ドイツ	ボン大学リサーチトレーニンググループ1873	院	3
	1		

国·地域	協定校	対象	上限枠
スウェーデン	イエテボリ大学S.A.アカデミー	院	2
	数理科学研究科		
フランス	エコール・ノルマル・スューペリュールリヨン数学科	院	5
ロシア	国立研究大学高等経済学院	院	5
	新領域創成科学研究科		
中国	同済大学院 ※工学系と担当	院	5
中国	北京航空航天大学電子情報工程学院航空科 学与工程学院 ※工学系と担当	院	2
シンガポール・ 中国	シンガポール国立大学設計・環境学部 同済大学 建築・都市計画学院 清華大学 建築学院 ※修士のみ ※工学系と担当	院	4
韓国	韓国科学技術院(KAIST)工学研究科	院	5
タイ	カセサート大学理学部	院	3
ブラジル	カンピナス大学	院	5
ケニア	ナイロビ大学	院	2
ナイジェリア	イバダン大学	院	2
南アフリカ	ケープタウン大学工学・構築建築部	院	2
オーストラリア	ロイヤルメルボルン工科大学	院	3
オーストリア	ウィーン工科大学	院	2
フランス	フランス国立応用科学院リヨン校	院	3
フランス	エコール・ノルマル・スューペリュールリヨン	院	2
フランス	エコール・セントラル・ドゥ・ナント校	院	3
フランス	ジャンモネ大学	院	3
フランス	クロード・ベルナール・リヨン第一大学	院	3
ドイツ	ヴュルツブルグ大学生命科学研究科	院	5
英国	インベリアルカレッジロンドン工学研究科化学工 学専攻	院	5
EU	"ミュンヘンエ科大学、パリ・ラヴィレット建築大学、 リスポンエ科大学、ルーバン大学、ソフィア建築・ 土木・測地学大学"(AUSMIP) ※修士のみ対象 ※工学系と担当	院	10
その他	"シントルーカス大学建築及び都市計画学部、フランス国立パリ建築大学ラビレット校、リスポン工科大学建築学部、ミュンヘン工科大学建築学部 Building Realization & Informatics講座、ソフィア建築・土木・測地学大学、(AUSMIP+) ※博士のみ対象 ※工学系と担当	院	EU側 5校と Asia- Pacific 側8校と の間で 4年間で35名
その他	国連大学サステイナピリティ高等研究所	院	若干名
	情報理工学系研究科		
オーストリア	ウィーン工科大学(VUT)	院	2
デンマーク	デンマークエ科大学(DTU)	院	3
フィンランド	アールト大学(旧ヘルシンキエ科大学)	院	3
フランス	エコール・スューペリュール EA (ESIEA)	院	5
フランス	エコール・セントラル・パリ	院	5
フランス	エコール・デ・ミン・ド・ナント (École des Mines de Nantes)	院	5
フランス	エコール・ノルマル・スューベリュール・カシャン (ENSC:カシャン高等師範学校)	院	2
フランス	フランス国立応用科学院リヨン校(INSA Lyon)	院	2
ドイツ	ミュンヘン工科大学(TUM)	院	5
ドイツ	ダルムシュタット工科大学(TUD)	院	2
イタリア	トリノエ科大学 ※工学系と担当	院	5

国·地域	協定校	対象	上限枠
ノルウェー	ノルウェー工科自然科学大学(NTNU)	院	5
スウェーデン	リンシェピン大学理工学部 ※工学系と担当	院	2
スイス	チューリッヒ大学自然科学部・経済学部(UZH) ※工学系と担当	院	5
EU	"ビエール・マリー・キュリー大学(フランス)、アールト大学(フィンランド)、エトヴェシュ・ロラーンド大学(ハンガリー)、ベルリン工科大学(ドイツ)、カルロス3世・マドリード大学(スペイン)、トレント大学(イタリア)"(Erasmus Mundus Programme)*博士のみ対象	院	注: 2014- 2018年 で3名
	情報学環·学際情報学府		
韓国	ソウル大学校社会科学大学言論情報学科	院	6
	公共政策学連携研究部·教育部		
中国	北京大学 国際関係学院(PKU-SIS)	院	10
韓国	ソウル大学校 国際大学院(SNU-GSIS)	院	10
シンガポール	シンガポール国立大学リー・クァンユー公共政策 大学院(LKY-SPP)	院	3
ブラジル	ジェトゥリオヴァルガスビジネススクール(FGV)	院	2
アメリカ	コロンビア大学国際公共政策大学院(SIPA)	院	5
アメリカ	カリフォルニア大学サンディエゴ校グローバル政 策&ストラテジー研究大学院	院	3
オーストラリア	オーストラリア国立大学	院	未定
フランス	パリ政治学院(Sciences Po.)	院	5
フランス	HEC経営学院(HEC Paris)	院	2
ドイツ	ヘルティー・スクール・オブ・ガバナンス(HSoG)	院	5
ドイツ	ハイデルベルク大学 The Graduate Programme for Transcultural Studies (GPTS)	院	2
英国	ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリ ティカル・サイエンス	院	未定

注:EU側5校とAsia-Pacific側8校との間で4年間で35名



「地域・国別」

※2016年2月1日現在、交換留学を実施するため、東京大学が学生交流覚書を締結している協定校を掲載している。 ただし、覚書の更新や取扱いの検討等により調整中につき掲載されていない協定校があることや掲載されていても当該年度に交換留学を実施していない場合もあるため注意すること。

※複数の大学とのコンソーシアムタイプの交流は含まれていない。

※担当部局の項目が「全学」となっているものは、国際本部による全学交換留学制度を示している。

40ヶ国・地域 200大学・機関

国·地域	協定校	担当部局
	アジア	60
	国立交通大学社会文化研究所	総
	国立屏東大学獣医学院	農
	国立中興大学獣医学院	農
	国立交通大学	全学
	国立政治大学台湾史研究科	総
台湾	国立政治大学歴史学系	総
	国立台湾海洋大学	農
	国立台湾大学	全学
	国立台湾大学医学部	医
	台北医学大学医学部	医
	台北医学大学公共衛生栄養学部	農
	中国科学院大学資源環境学院	農
	華東師範大学思勉人文高等学院	総
	山東大学儒学高等研究院·韓国研究中心	文
	四川農業大学	農
	上海交通大学	全学
	清華大学	全学
	西安交通大学	I
	西南大学	農
	大連理工大学	I
	中国農業大学	農
	天津農学院	農
	東北師範大学地理科学学院	農
	東北林業大学	農
	同済大学院	工/新領
中国	南開大学	全学
	南京大学国際合作交流処 ※AIKOM	教養
	南京農業大学	農
	南京林業大学	農
	福州大学化学学部	エ
	復旦大学外事処 ※AIKOM	教養
	北京航空航天大学電子情報工程学院航空科学与 工程学院	工/新領
	北京交通大学	I
	北京大学	全学
	北京大学国際関係学院(PKU-SIS)	法/公共
	北京大学法学院	法
	北京大学歴史学系	文/総
	北京林業大学	農
	浙江大学	エ
	瀋陽薬科大学	薬
	香港大学	全学
香港	香港理工大学	I
	香港中文大学文学院	文
	インド経営大学院バンガロール校	I
	インド工科大学カラグプール校	I
	171 = 117(17)	
	インドエ科士学ハイデラバード校	I T
インド	インドエ科大学ハイデラバード校	T
インド	インド工科大学マドラス校	I
インド	インドエ科大学マドラス校 タミルナードゥ農業大学	土 農
インド	インドエ科大学マドラス校 タミルナードゥ農業大学 デリー大学	農文
インド	インドエ科大学マドラス校 タミルナードゥ農業大学 デリー大学 インドネシア大学公衆衛生学部[UEHAS]	農文工
インド	インドエ科大学マドラス校 タミルナードゥ農業大学 デリー大学 インドネシア大学公衆衛生学部[UEHAS] ガジャマダ大学	工農文工工全学/農
	インド工科大学マドラス校 タミルナードゥ農業大学 デリー大学 インドネシア大学公衆衛生学部[UEHAS] ガジャマダ大学 パジャジャラン大学	工 農 文 工 全学/農 農
	インド工科大学マドラス校 タミルナードゥ農業大学 デリー大学 インドネシア大学公衆衛生学部[UEHAS] ガジャマダ大学 パジャジャラン大学 パンドン工科大学[UEHAS]	工 農 文 工 全学/農 農
	インド工科大学マドラス校 タミルナードゥ農業大学 デリー大学 インドネシア大学公衆衛生学部[UEHAS] ガジャマダ大学 パジャジャラン大学 パンドン工科大学[UEHAS] ボゴール農科大学	工 農 文 工 全学/農 農 工
	インド工科大学マドラス校 タミルナードゥ農業大学 デリー大学 インドネシア大学公衆衛生学部[UEHAS] ガジャマダ大学 パジャジャラン大学 パンドン工科大学[UEHAS]	工 農 文 工 全学/農 農
	インド工科大学マドラス校 タミルナードゥ農業大学 デリー大学 インドネシア大学公衆衛生学部[UEHAS] ガジャマダ大学 パジャジャラン大学 パンドン工科大学[UEHAS] ボゴール農科大学	工 農 文 工 全学/農 農 工
	インド工科大学マドラス校 タミルナードゥ農業大学 デリー大学 インドネシア大学公衆衛生学部[UEHAS] ガジャマダ大学 バジャジャラン大学 バンドン工科大学[UEHAS] ボゴール農科大学 ムラワルマン大学	工 農 文 工 全学/農 農 工 農
インドネシア	インド工科大学マドラス校 タミルナードゥ農業大学 デリー大学 インドネシア大学公衆衛生学部[UEHAS] ガジャマダ大学 バジャジャラン大学 バンドン工科大学[UEHAS] ボゴール農科大学 ムラワルマン大学 ランプン大学農学部	工 農 文 工 全学/農 農 工 農
インドネシア	インド工科大学マドラス校 タミルナードゥ農業大学 デリー大学 インドネシア大学公衆衛生学部[UEHAS] ガジャマダ大学 バジャジャラン大学 バンドン工科大学[UEHAS] ボゴール農科大学 ムラワルマン大学 ランプン大学農学部 建国大学校獣医学部	工 農 文 工 全学/農 農 工 農
	インドエ科大学マドラス校 タミルナードゥ農業大学 デリー大学 インドネシア大学公衆衛生学部[UEHAS] ガジャマダ大学 バジャジャラン大学 バンドンエ科大学[UEHAS] ボゴール農科大学 ムラワルマン大学 ランプン大学農学部 建国大学校獣医学部 高麗大学	工 農 文 工 全学/農 農 工 農 農 農
インドネシア	インドエ科大学マドラス校 タミルナードゥ農業大学 デリー大学 インドネシア大学公衆衛生学部[UEHAS] ガジャマダ大学 バジャジャラン大学 バンドンエ科大学[UEHAS] ボゴール農科大学 ムラワルマン大学 ランプン大学農学部 建国大学校獣医学部 高麗大学 高麗大学工学部	工 農 文 工 全学/農 農 工 農 農 農

E 11/1-9	14 ch 14	机业量
国·地域	協定校	担当部局
	ソウル大学校自然科学大学	理
	ソウル大学校社会科学大学言論情報学科	学環
	ソウル大学校人文大学	文
	ソウル大学校農業生命科学大学	農
	ソウル大学校法科大学院	法
	浦項工科大学校	全学
韓国	延世大学	全学
	金慶大学校環境海洋大学	農
	釜慶大学校水産科学大学	農
	釜山大学校人文大学	文
	韓国科学技術院(KAIST)工学研究科	新領
	韓国科学技術院工科大学/生命科学技術大学(KAIST)	I ** **
	韓国外国語大学校東洋語大学・日本語大学	教養·総
マレーシア	マラヤ大学	全学
フィリピン	フィリピン大学	全学
モンゴル	モンゴル国立農業大学	農
	シンガポール国立大学	全学
	シンガポール国立大学リー・クァンユー公共政策大	/A #
シンガポール	学院(LKY-SPP)	公共
	シンガポール国立大学人文社会学部 ※AIKOM	教養
	ナンヤン工科大学工学部	I
スリランカ	ルフナ大学	農
	アジア工科大学院	I
	カセサート大学理学部	新領
F. (カセサート大学獣医学部・農学部・林学部	農
タイ	コンケン大学農学部	農
	タマサート大学国際工学部(SIIT)	I
	チュラロンコン大学	全学
	チュラロンコン大学工学部[UEHAS]	I
	カントー大学	農
	ベトナム国立農業大学	農
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校付属人文社会科学大学	教養·総
NI) A	ベトナム国家大学ハノイ校付属人文社会科学大学 ※AIKOM	教養
	ベトナム国家大学ハノイ校理科大学	I
	 中南米	
	カンピナス大学	新領
ブラジル	サンパウロ大学	全学
	ジェトゥリオヴァルガスビジネススクール(FGV)	公共
	チリ・カトリック大学	全学
T11	711 - 111 - 5 - W - W - W - O - C	
チリ	チリ カトリック大学 ※AIKOM	教養
チリ	チリカトリック大学 ※AIKOM チリ大学	教養 全学
チリメキシコ		
	チリ大学	全学
	チリ大学 エル・コレヒオ・デ・メヒコ	全学
メキシコ	チリ大学 エル・コレヒオ・デ・メヒコ 中近東 テヘラン大学	全学全学文
メキシコ イラン トルコ	チリ大学 エル・コレヒオ・デ・メヒコ 中近東 テヘラン大学 中東工科大学工学部	全学 全学 文 工
メキシコ イラン トルコ トルコ	チリ大学 エル・コレヒオ・デ・メヒコ 中近東 テヘラン大学	全学全学文
メキシコ イラン トルコ トルコ アラブ首長国	チリ大学 エル・コレヒオ・デ・メヒコ 中近東 テヘラン大学 中東工科大学工学部	全学 全学 文 工
メキシコ イラン トルコ トルコ	チリ大学 エル・コレヒオ・デ・メヒコ 中近東 テヘラン大学 中東工科大学工学部 イスタンブル工科大学理工学部 マスダール科学技術大学	文工工工
メキシコ イラン トルコ トルコ アラブ首長国 連邦	チリ大学 エル・コレヒオ・デ・メヒコ 中近東 テヘラン大学 中東エ科大学工学部 イスタンブルエ科大学理工学部 マスダール科学技術大学 アフリカ	全学 全学 文 エ エ
メキシコ イラン トルコ トルコ アラブ首長国 連邦	チリ大学 エル・コレヒオ・デ・メヒコ 中近東 テヘラン大学 中東エ科大学工学部 イスタンブルエ科大学理工学部 マスダール科学技術大学 アフリカ ナイロビ大学	全学 全学 文 エ エ エ 新領
メキシコ イラン トルコ トルコ アラブ首長国 連邦 ケニア ナイジェリア	チリ大学 エル・コレヒオ・デ・メヒコ 中近東 テヘラン大学 中東工科大学工学部 イスタンブル工科大学理工学部 マスダール科学技術大学 アフリカ ナイロビ大学 イバダン大学	全学 全学 文 工 工 工 新領 新領
メキシコ イラン トルコ トルコ アラブ首長国 連邦	チリ大学 エル・コレヒオ・デ・メヒコ 中近東 テヘラン大学 中東工科大学工学部 イスタンブル工科大学理工学部 マスダール科学技術大学 アフリカ ナイロビ大学 イバダン大学	全学 全学 文 エ エ エ 新領
メキシコ イラン トルコ トルコ アラブ首長国 連邦 ケニア ナイジェリア	チリ大学 エル・コレヒオ・デ・メヒコ 中近東 テヘラン大学 中東工科大学工学部 イスタンブル工科大学理工学部 マスダール科学技術大学 アフリカ ナイロビ大学 イバダン大学	全学 全学 文 工 工 工 新領 新領
メキシコ イラン トルコ トルコ アラブ首長国 連邦 ケニア ナイジェリア	チリ大学 エル・コレヒオ・デ・メヒコ 中近東 テヘラン大学 中東工科大学工学部 イスタンブル工科大学理工学部 マスダール科学技術大学 アフリカ ナイロビ大学 イバダン大学 ケープタウン大学工学・構築建築部	全学 全学 文 工 工 工 新領 新領
メキシコ イラン トルコ トルコ アラブ首長国 連邦 ケニア ナイジェリア	チリ大学 エル・コレヒオ・デ・メヒコ 中近東 テヘラン大学 中東工科大学工学部 イスタンブル工科大学理工学部 マスダール科学技術大学 アフリカ ナイロビ大学 イバダン大学 ケープタウン大学工学・構築建築部 北米	全学 全学 文 工 工 工 新領 新領
メキシコ イラン トルコ トルコ アラブ首長国 連邦 ケニア ナイジェリア 南アフリカ共和国	チリ大学 エル・コレヒオ・デ・メヒコ 中近東 テヘラン大学 中東工科大学工学部 イスタンブル工科大学理工学部 マスダール科学技術大学 アフリカ ナイロビ大学 イバダン大学 ケープタウン大学工学・構築建築部 北米 トロント大学 ブリティッシュ・コロンビア大学	全学 全学 文工工工工 工工 新額 新額 新額 全学 全学 全学
メキシコ イラン トルコ トルコ アラブ首長国 連邦 ケニア ナイジェリア 南アフリカ共和国	チリ大学 エル・コレヒオ・デ・メヒコ 中近東 テヘラン大学 中東工科大学工学部 イスタンブル工科大学理工学部 マスダール科学技術大学 アフリカ ナイロビ大学 イバダン大学 ケーブタウン大学工学・構築建築部 北米 トロント大学 ブリティッシュ・コロンビア大学 マギル大学	全学 全学 文工工工工工 新額 新額 新額 金学
メキシコ イラン トルコ トルコ アラブ首長国 連邦 ケニア ナイジェリア 南アフリカ共和国	チリ大学 エル・コレヒオ・デ・メヒコ 中近東 テヘラン大学 中東工科大学工学部 イスタンブルエ科大学理工学部 マスダール科学技術大学 アフリカ ナイロビ大学 イバダン大学 ケーブタウン大学工学・構築建築部 北米 トロント大学 ブリティッシュ・コロンビア大学 マギル大学 イェール大学Fox International Fellowship	全学 全学 文工工工工 工工 新額 新額 新額 全学 全学 全学
メキシコ イラン トルコ トルコ アラブ首長国 連邦 ケニア ナイジェリア 南アフリカ共和国	チリ大学 エル・コレヒオ・デ・メヒコ 中近東 テヘラン大学 中東工科大学工学部 イスタンブル工科大学理工学部 マスダール科学技術大学 アフリカ ナイロビ大学 イバダン大学 ケーブタウン大学工学・構築建築部 北米 トロント大学 ブリティッシュ・コロンビア大学 マギル大学 イエール大学Fox International Fellowship Program	全学 全学 文工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工
メキシコ イラン トルコ トルコ アラブ首 長国 連邦 ケニア ナイジェリア 南アフリカ共和国	チリ大学 エル・コレヒオ・デ・メヒコ 中近東 テヘラン大学 中東工科大学工学部 イスタンブル工科大学理工学部 マスダール科学技術大学 アフリカ ナイロビ大学 イバダン大学 ケーブタウン大学工学・構築建築部 北米 トロント大学 ブリティッシュ・コロンビア大学 マギル大学 イェール大学Fox International Fellowship Program イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校	全学 全学 文工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工
メキシコ イラン トルコ トルコ アラブ首長国 連邦 ケニア ナイジェリア 南アフリカ共和国	チリ大学 エル・コレヒオ・デ・メヒコ 中近東 テヘラン大学 中東工科大学工学部 イスタンブル工科大学理工学部 マスダール科学技術大学 アフリカ ナイロビ大学 イバダン大学 ケーブタウン大学工学・構築建築部 北米 トロント大学 ブリティッシュ・コロンビア大学 マギル大学 イエール大学Fox International Fellowship Program イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校 カリフォルニア大学	全学 全学 文工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工
メキシコ イラン トルコ トルコ アラブ首 長国 連邦 ケニア ナイジェリア 南アフリカ共和国	チリ大学 エル・コレヒオ・デ・メヒコ 中近東 テヘラン大学 中東工科大学工学部 イスタンブル工科大学理工学部 マスダール科学技術大学 アフリカ ナイロビ大学 イバダン大学 ケーブタウン大学工学・構築建築部 北米 トロント大学 ブリティッシュ・コロンビア大学 マギル大学 イェール大学Fox International Fellowship Program イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校	全学 全学 文工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工

	14-5-14	担火金
国·地域	協定校	担当部局
	コロンビア大学国際公共政策大学院(SIPA)	公共
	ジョンズホプキンス大学クリーガー教養学部 ※ALKOM	教養
	*AIKOM	
	ジョンズホプキンス大学医学部	医
	スウァスモアカレッジ	全学
	スウァスモアカレッジ ※AIKOM	教養
アメリカ	テキサス大学M.D.アンダーソンがんセンター	薬
	ニューヨーク大学大学院総合文化研究科	総
	ハーバード・ロースクール ※受入のみ、派遣なし	法
	プリンストン大学	全学
	ペンシルバニア大学医学部	医
	ミシガン大学医学部	医
=	ワシントン大学教養学部 ※AIKOM	教養
	オセアニア	
	アデレード大学	全学
	オーストラリア国立大学	全学/公共
	クイーンズランド工科大学理工学部	I
	クィーンズランド大学	全学
	シドニー大学	全学
オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学	全学
	メルボルン大学	全学
	モナシュ大学	全学
	南オーストラリア大学情報科学技術工学環境学部	I
	ロイヤルメルボルン工科大学	工/新領
	オタゴ大学	全学
	カンタベリー大学工学部	I
ニュージーランド	マッセイ大学	農
	オークランド大学	全学
	オタゴ大学 ※AIKOM	教養
	欧州	
6.1	ウィーン工科大学(VUT)	工/新領/情理
オーストリア	グラーツ工科大学	I
チェコ	南ボヘミア大学水産・水系保護研究院	理
		全学
デンマーク	コペンハーゲン大学 ニシュークエ科+学 (DTU)	
デンマーク	デンマークエ科大学(DTU)	工/情理
フィンランド	アールト大学(旧ヘルシンキエ科大学)	工/農/情理
	ヘルシンキ大学	全学
	EHESS(社会科学高等研究院)	全学
	HEC経営学院(HEC Paris)	経/公共
	アグロパリテック(旧パリーグリニョン国立農学院)	農
	エコール・スューペリュール EA (ESIEA)	情理
	エコール・セントラル・ドゥ・ナント校	新領
	セントラルスープレック (エコール・セントラル・パリ)	工/情理
	エコール・セントラル・リヨン	I
	エコール・デ・ポン・パリテク	<u> </u>
	エコール・デ・ミン・ド・ナント	
	(École des Mines de Nantes)	工/情理
	エコール・ノルマル・スューペリュール	文
	エコール・ノルマル・スューペリュール (リヨン校)	文
	エコール・ノルマル・スューペリュール・カシャン	
	(ENSC: カシャン高等師範学校)	情理
	エコール・ノルマル・スューペリュールリヨン	新領
フランス	エコール・ノルマル・スューペリュールリヨン数学科	数理
	エコール・ポリテクニーク	全学
	エコール・ミン・パリ	I
	グルノーブル アルプ大学 ※AIKOM	全学(予定)/教養
	クロード・ベルナール・リヨン第一大学	
		新領
	ジャンモネ大学	新領
	ストラスブール大学	全学
	パリ政治学院(Sciences Po.)	全学/公共
	パリ第7・ディドロ大学	教養·総
	パリ第8大学	教養·総
	ピエール・エ・マリー・キュリー大学(パリ第6大学)	I
	工学部	
	フランス国立応用科学院リヨン校 (INSA Lyon)	工/新領/情理
	航空宇宙高等学院(ISAE)	I
	国立民間航空大学校(ENAC)	I
	アーヘン大学	工/理
	ヴュルツブルグ大学生命科学研究科	新領
ドイツ	カールスルーエエ科大学	工/農
	ガールスルーエエヤ 八十	
	ケルン大学シュツットガルト大学	全学

- u	14 4	10 V/ +0 D
国·地域	協定校	担当部局
	ダルムシュタット工科大学(TUD)	工/情理
	ヘルティー・スクール・オブ・ガバナンス(HSoG)	公共
	ハイデルベルク大学 The Graduate	
	Programme for Transcultural Studies	公共
	(GPTS)	477
	フランクフルト大学	経
	フリードリヒ・アレクサンダー大学エアランゲン・ ニュルンベルグ工学部	エ
		数 羊 蚁
ドイツ	ベルリン・フンボルト大学	教養·総
	ベルリン自由大学	全学
	ベルリン自由大学(歴史文化学部、他)	文/教養·総
	ボン大学リサーチトレーニンググループ1873	薬
	マルティン・ルター・ハレ・ヴィッテンベルク大学第一哲学部	教養・総
	ミュンヘン・ルートヴィヒ・マクシミリアン大学	全学
		医
	ミュンヘン・ルートヴィヒ・マクシミリアン大学医学部 ミュンヘンエ科大学(TUM)	工/情理
		工/1月垤
アイルランド	トリニティカレッジ ダブリン大学 人文・人間科学・ 社会科学部 ※AIKOM	教養
7 170 321	ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン	全学
	トリノエ科大学	工/情理
	ピサ高等師範学校	文
	聖アンナ大学院ロボティックス研究所 [GSDM]	I
イタリア	室アンプス学院ロホティックス研究所[GSDM] フィレンツェ大学	文
	ミラノエ科大学	I
	ローマ大学 ラ・サピエンツア 東洋研究学部	
	ローマ大学 ブ・ザビエングア 東洋研究学部 ※AIKOM	教養
	デルフト工科大学機械・海洋・マテリアル工学部	I
	トエンテ大学	ī
オランダ	フローニンゲン大学	全学
	ライデン大学	全学
ノルウェー	ノルウェー工科自然科学大学(NTNU)	工/情理
<i></i>		
ポーランド	クラクフ農科大学	農
	ワーミヤ・マズリー大学	農
l second	国立研究大学高等経済学院	数理
ロシア	サンクトペテルブルク国立大学	全学/理
	ロシア国立人文大学	教養・総
	ロモノーソフ記念モスクワ国立大学	理
7ペイン	バレンシア工科大学	エ
スペイン		I
スペイン	バレンシア工科大学	
スペイン	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部	I
スペイン	バレンシア工科大学 マドリッドエ科大学建築学部 イエテボリ大学	工 医
スペイン	バレンシア工科大学 マドリッドエ科大学建築学部 イエテボリ大学 イエテボリ大学S.A.アカデミー	工 医 薬
スペイン	パレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学 イエテボリ大学 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウプサラ大学	工 医 薬 全学
スペイン	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学	工 医 薬 全学 全学/工
	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス	工 医 薬 全学 全学/工 農
スペイン	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学	工 医 薬 全学 全学/工 農 経 全学
	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学 ストックホルム大学教育学部	工 医 薬 全学 全学/工 農
	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学 ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学	工 医 薬 全学 全学/工 農 経 全学 教育 工
	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学 ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学 リンシェビン大学理工学部	工 医 薬 全学 全学/工 農 経 全学 教育 工 工/情理
	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学 ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学 リンシェビン大学理工学部 ルレオー工科大学 ※修士のみ対象	工 医 薬 全学 全学/工 農 経 全学 教育 工 工/情理
	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学 ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学 リンシェビン大学理工学部	工 医 薬 全学 全学/工 農 経 全学 教育 工 工/情理
	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学 ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学 リンシェビン大学理工学部 ルレオー工科大学 ※修士のみ対象 ルレオー工科大学 Department of Computer	工 医 薬 全学 全学/工 農 経 全学 教育 工 工/情理
	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学 ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学 リンシェピン大学理工学部 ルレオー工科大学 ※修士のみ対象 ルレオー工科大学 Department of Computer Science, Electrical and Space Engineering	工 医 薬 全学/工 農 経 全学 教育 工 工/情理 工
	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学 ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学 リンシェピン大学理工学部 ルレオー工科大学 ※修士のみ対象 ルレオー工科大学 Department of Computer Science, Electrical and Space Engineering ルンド大学 ジュネーヴ大学	工 医 薬 全学/工 農 経 全学 教育 工 工/情理 工 理
	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学 ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学 リンシェピン大学理工学部 ルレオー工科大学 ※修士のみ対象 ルレオー工科大学 Department of Computer Science, Electrical and Space Engineering ルンド大学 ジュネーヴ大学 ※AIKOM	工 医 薬 全学/工 農 経 全学 教育 工 工/情理 工 理
スウェーデン	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学 ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学 リンシェピン大学理工学部 ルレオー工科大学 ※修士のみ対象 ルレオー工科大学 Department of Computer Science, Electrical and Space Engineering ルンド大学 ジュネーヴ大学 ※AIKOM スイス連邦工科大学チューリッヒ	工 医 薬 全学/工 農 経 全学 教育 工 工/情理 工 理 全学学
スウェーデン	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学 ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学 リンシェピン大学理工学部 ルレオー工科大学 ※修士のみ対象 ルレオー工科大学 Department of Computer Science, Electrical and Space Engineering ルンド大学 ジュネーヴ大学 ジュネーヴ大学 ジュネーヴ大学 メンスに連邦工科大学チューリッヒ スイス連邦工科大学コーザンヌ(EPFL)	工 医 薬 全学/工 農 経 全学 教育 工 工/情理 工 理 全学 教養 全学
スウェーデン	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学 ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学 リンシェピン大学理工学部 ルレオー工科大学 ※修士のみ対象 ルレオー工科大学 Department of Computer Science, Electrical and Space Engineering ルンド大学 ジュネーヴ大学 ジュネーヴ大学 ジュネーヴ大学 メンネーヴ大学 メンスに基邦工科大学カーリッヒ スイス連邦工科大学ローザンヌ(EPFL) チューリッヒ大学自然科学部・経済学部(UZH)	工 医 薬 全学/工 農 経 全学 教工 工工/情理 工 理 全学 教養 全 全学
スウェーデン	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学 ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学 リンシェピン大学理工学部 ルレオー工科大学 ※修士のみ対象 ルレオー工科大学 Department of Computer Science, Electrical and Space Engineering ルンド大学 ジュネーヴ大学 ジュネーヴ大学 ジュネーヴ大学 メンスに連邦工科大学チューリッヒ スイス連邦工科大学コーザンヌ(EPFL)	工 医 薬 全学/工 農 経 全学 教育 工 工/情理 工 理 全学 教養 全学
スウェーデン	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学 リンシェビン大学理工学部 ルレオー工科大学 ※修士のみ対象 ルレオー工科大学 Department of Computer Science, Electrical and Space Engineering ルレド大学 ジュネーヴ大学 ジュネーヴ大学 ジュネーヴ大学 ※AIKOM スイス連邦工科大学コーザンヌ(EPFL) チューリッヒ大学自然科学部・経済学部(UZH) インペリアルカレッジロンドン工学研究科化学工	工 医 薬 全学/工 農 経 全学 教工 工工/情理 工 理 全学 教養 全 全学
スウェーデン	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学 リンシェピン大学理工学部 ルレオー工科大学 ※修士のみ対象 ルレオー工科大学 Department of Computer Science, Electrical and Space Engineering ルンド大学 ジュネーヴ大学 ジュネーヴ大学 ※AIKOM スイス連邦工科大学チューリッヒ スイス連邦工科大学ローザンヌ(EPFL) チューリッヒ大学自然科学部・経済学部(UZH) インペリアルカレッジロンドン工学研究科化学工学専攻	工 医 薬 全学/工 農 経 全学 教育 工 工 工/情理 工 理 全学学 教文学 工工/情理 工工 理 全学学 教文学 工工工 用理 工工 工工 工工 工工 工工 工工 工工 工工 工工 工工 工工 工工 工工
スウェーデン	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学 リンシェピン大学理工学部 ルレオー工科大学 ※修士のみ対象 ルレオー工科大学 Department of Computer Science, Electrical and Space Engineering ルンド大学 ジュネーヴ大学 ※AIKOM スイス連邦工科大学コーザンヌ(EPFL) チューリッヒ大学自然科学部・経済学部(UZH) インペリアルカレッジロンドン工学研究科化学工学専攻 ウォリック大学 ※AIKOM	工 医 薬 全学/工 農 経 全学 教育 工 工/情理 工 理 全学 教養 全学
スウェーデン	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学 リンシェビン大学理工学部 ルレオー工科大学 ※修士のみ対象 ルレオー工科大学 Department of Computer Science, Electrical and Space Engineering ルンド大学 ジュネーヴ大学 ジュネーヴ大学 ジュネーヴ大学 ジュネーヴ大学 メーツッと大学自然科学ホーリッヒ スイス連邦工科大学ローザンヌ(EPFL) チューリッヒ大学自然科学部・経済学部(UZH) インベリアルカレッジロンドン工学研究科化学工学専攻 ウォリック大学 ※AIKOM エクセター大学 エジンバラ大学獣医校	工 医 薬 全学 全学/工 農 経 全学/工 農 経 全学 教育 工工/情理 工 理 全全教
スウェーデン	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学 リンシェピン大学理工学部 ルレオー工科大学 ※修士のみ対象 ルレオー工科大学 Department of Computer Science, Electrical and Space Engineering ルンド大学 ジュネーヴ大学 ジュネーヴ大学 ※AIKOM スイス連邦工科大学チューリッヒ スイス連邦工科大学ローザンヌ(EPFL) チューリッヒ大学自然科学部・経済学部(UZH) インペリアルカレッジロンドン工学研究科化学工学専攻 ウォリック大学 ※AIKOM エクセター大学 エジンバラ大学獣医校	工 医 薬 全学 全学 /工 /
スウェーデン	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学 リンシェピン大学理工学部 ルレオー工科大学 ※修士のみ対象 ルレオー工科大学 Department of Computer Science, Electrical and Space Engineering ルンド大学 ジュネーヴ大学 メーリッヒ大学自然科学部・経済学部(UZH) インベリアルカレッジロンドン工学研究科化学工学専攻 ウォリック大学 ※AIKOM エクセター大学 エジンバラ大学獣医校 サウサンプトン大学 シェフィールド大学	工 医 薬 全学 全学 /工 /
スウェーデン	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学 リンシェビン大学理工学部 ルレオー工科大学 ※修士のみ対象 ルレオー工科大学 Department of Computer Science, Electrical and Space Engineering ルンド大学 ジュネーヴ大学 ※AIKOM スイス連邦工科大学チューリッヒ スイス連邦工科大学ローザンヌ(EPFL) チューリッヒ大学自然科学部・経済学部(UZH) インベリアルカレッジロンドン工学研究科化学工学専攻 ウォリック大学 ※AIKOM エクセター大学 エジンバラ大学獣医校 サウサンプトン大学 シェフィールド大学 ダラム大学	工 医 葉 全学 全学 工 工 理 全全 教全工工 情理 工 打 打 打 打 打 打 打 打 打
スウェーデン	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学 リンシェビン大学理工学部 ルレオー工科大学 ※修士のみ対象 ルレオー工科大学 Department of Computer Science, Electrical and Space Engineering ルンド大学 ジュネーヴ大学 ※AIKOM スイス連邦工科大学チューリッヒ スイス連邦工科大学ローザンヌ(EPFL) チューリッヒ大学自然科学部・経済学部(UZH) インベリアルカレッジロンドン工学研究科化学工学専攻 ウォリック大学 ※AIKOM エクセター大学 エジンバラ大学獣医校 サウサンプトン大学 シェフィールド大学 ダラム大学 マンチェスター大学人文学部	工 医 葉 全学 全学 工 工 理 全全 教 全 工 工
スウェーデン	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学教育学部 チャルマーズエ科大学 リンシェビン大学理工学部 ルレオー工科大学 ※修士のみ対象 ルレオー工科大学 Department of Computer Science, Electrical and Space Engineering ルンド大学 ジュネーヴ大学 ジュネーヴ大学 ※AIKOM スイス連邦工科大学チューリッヒ スイス連邦工科大学ローザンヌ(EPFL) チューリッヒ大学自然科学部・経済学部(UZH)インペリアルカレッジロンドン工学研究科化学工学専攻 ウォリック大学 ※AIKOM エクセター大学 エジンバラ大学獣医校 サウサンブトン大学 シェフィールド大学 ダラム大学 マンチェスター大学人文学部 ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	工 医 葉 全学 全学 工 工 理 全全 教全工工 情理 工 打 打 打 打 打 打 打 打 打
スウェーデン	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウプサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学 ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学 リンシェピン大学理工学部 ルレオー工科大学 ※修士のみ対象 ルレオー工科大学 Department of Computer Science, Electrical and Space Engineering ルンド大学 ジュネーヴ大学 ジュスーヴ大学 ジュスーヴト学 クォリック大学 ※AIKOM エクセター大学 エジンバラ大学獣医校 サウサンブトン大学 シェフィールド大学 ダラム大学 マンチェスター大学人文学部 ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリ	工 医 葉 全学 全学 工 工 理 全全 教 全 工 工
スウェーデン	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学 ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学 リンシェピン大学理工学部 ルレオー工科大学 ※修士のみ対象 ルレオー工科大学 Department of Computer Science, Electrical and Space Engineering ルンド大学 ジュネーヴ大学 ジュスールド大学 ダラム大学 マンチェスター大学人文学部 ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリティカル・サイエンス	工 医 葉 全学
スウェーデン	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウプサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学 ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学 リンシェピン大学理工学部 ルレオー工科大学 ※修士のみ対象 ルレオー工科大学 Department of Computer Science, Electrical and Space Engineering ルンド大学 ジュネーヴ大学 ジュスーヴ大学 ジュスーヴト学 クォリック大学 ※AIKOM エクセター大学 エジンバラ大学獣医校 サウサンブトン大学 シェフィールド大学 ダラム大学 マンチェスター大学人文学部 ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリ	工 医 葉 全学
スウェーデン	バレンシア工科大学 マドリッド工科大学建築学部 イエテボリ大学S.A.アカデミー ウブサラ大学 スウェーデン王立工科大学[GME] スウェーデン農科大学 ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス ストックホルム大学教育学部 チャルマーズ工科大学 リンシェピン大学理工学部 ルレオー工科大学 ※修士のみ対象 ルレオー工科大学 Department of Computer Science, Electrical and Space Engineering ルンド大学 ジュネーヴ大学 ジュネーヴ・アンド・プレンバントンスクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリ ティカル・サイエンス ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリ	工 医 葉 全学

page 12 page 13

3.3ヶ月未満の留学(大学を通じて応募するもの)

Motivation for your Future

「自分の語学力が把握できた」「積極的なディスカッションの面白さを知った」「大切な友人が世界にできた」など、短期間の留学でも長期的な収穫を得ることができます。

3ヶ月未満の留学の長所

①期間が短く、費用が抑えられる

②東京大学での授業・課外活動・就職活動等への影響が低い

③短期間で海外文化の体験、学生との交流、語学力・学力向上が可能

④交換留学・大学院留学など長期の留学への準備となる

海外の有力大学が夏に開催する3ヶ月未満の既存のプログラムから、良質なプログラムを選別して、東京大学からの奨学金付きで参加する学生を募集します。世界トップレベルの学生と少人数で受講する集中的プログラム、専門科目を学ぶ講義型プログラム、語学学習中心のプログラムまで、様々なものがあります。

(2016年夏留学分の募集は修了しましたが、2017年夏募集分については、2016年 12月頃に募集が開始される予定です。2016年は以下のカテゴリで募集を行いました。 2017年については変更となる場合があります)

①国際本部奨学金付き

夏季短期留学プログラム(2016年第1回)

●IARU Global Summer Program

IARU (International Alliance of Research Universities:国際研究型大学連合)に加盟する世界トップクラスの11大学によるプログラム。毎年6月か68月頃に2~6週間程度の期間で開催され、各校がお互いに学生の派遣・受入を行い、各大学の教授陣が、加盟各校から選抜された学生のために集中的なプログラムを実施します。日本で参加できるのは東大の学生だけ。短期集中、世界トップレベルの学生と寝食をともにしながら、英語での課題・濃密なディスカッションに挑戦し、人生を変えるような刺激を受けて帰ってきています。

- ●東大生海外体験プロジェクト(卒業生有志の学部生短期留学支援プログラム) より多くの一般的な学部学生に積極的に海外体験をしてほしいという理念に基づき、本学 卒業生が行う寄附募集活動「東大生海外体験プロジェクト」による寄附金から奨学金を支 給し、学部学生を短期留学プログラム等に派遣します。このプロジェクトは各界の著名な卒 業生が発起人となっており、参加後には卒業生との懇談会で成果を報告することが予定さ れています。
- ●大学院生短期留学支援プログラム大学院学生を海外短期留学プログラム等に派遣します。

東京大学が海外大学と連携して東大生のためにつくったプログラム(夏と冬)に、東京大学からの奨学金付きで参加する学生を募集します。以下のプログラムを予定しています。 (2016年2月現在の予定であり、変更になる可能性があります)

プログラムには以下の2つのカテゴリがあります。

《作り込み型プログラム》 東京大学の教員が海外パートナー校と連携し実施します。講義やフィールドワーク、現地 学生とのグループワークや交流などを組み合わせたプログラムです。

《カスタマイズ型プログラム》

海外留学に興味があるものの語学力に不安がある学生向けに、海外パートナー校に東 大生向けのプログラムのカスタマイズを依頼して実施します。パートナー大学教員の講義 や語学サポートを組み合わせたプログラムです。

②国際本部奨学金付き*

夏季短期留学プログラム(2016年第2回) [予定]

《作り込み型プログラム》

- ●北京大学・東京大学合同サマープログラム
- ●香港大学・東京大学合同サマープログラム
- ●ソウル大学・東京大学合同サマープログラム
- 《カスタマイズ型プログラム》
- ●シェフィールド大学サマープログラム

③国際本部奨学金付き*

冬季短期留学プログラム(2017年)[予定]

《作り込み型プログラム》

●国立台湾大学・イリノイ大学・東京大学合同(ウィンタープログラム) 〈カスタマイズ型プログラム〉

●カリフォルニア大学サンディエゴ校ウィンタープログラム*奨学金の受給には、一定の条件を満たす必要があります。

その他のプログラム

上記以外にも、費用の全額や一部を主催者が負担する海外研修や学生会議なども毎年数件 実施されます。募集期間が短い場合が多いので、ウェブサイトやSNSでこまめに情報を得るようにしてください。(P44「情報収集方法」のページを参照)

年間募集サイクル

3ヶ月未満の留学の場合、夏季(6月~8月頃)、冬季(1月~3月頃)にプログラムが行われます。特に夏季はサマープログラムとして最も多く開催される期間です。(夏季のプログラムは、1~2月頃に募集されるのが一般的ですが、4~6月まで応募可能なものもあります。)募集期間が短く、締切が早いプログラムも多いため、参加可能なプログラムの選択肢を広げるには、TOEFL・IELTSを受験し、募集期間までに必要なスコアを所持しておくことが大切です。

一般的な夏季および冬季の留学プログラム(大学本部を通じて応募するもの)の募集サイクル※以下の2つの募集サイクルは代表的な例で、これに当てはまらないプログラムもあります。

夏季 [予定]

12月	1月	2月	3月		4月	5月	6月	7月	8月	9月
(第1回 ログラ. ○情報4	募集時期①12~2月頃 (第1回)奨学金付き夏季短期留学プログラム ○情報収集・学内申請書作成 ○2月中旬頃学内応募締切		○学内選考(書面) ○東京大学からの推薦 なプログラムについて 選考通過者を派遣先大 薦、派遣先大学での書3 結果連絡	t)学内 (学へ推	参加申記 ○留学開始 ビザ・保!	・ 台までの手続き(宿舎・ 倹等) 派遣前 オリエンテー	プログラム開講			
			(第 期留 ○情	長時期②4~ 2回) 奨学 留学プログラ 報収集・学内に 引下旬頃学内に	金付き夏季短 ラム 申請書作成	険等)、事前学習	手続き(宿舎・ビザ・保	プログラム 開講		

冬季 [予定] 開講に向けて調整中のため、下記は暫定的なスケジュールです。

~7月まで	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
			奨学金 プログラ 〇情報収	期③9~10月頃 付き冬季留学 ム *・学内申請書作成 学内応募締切	険等)、事前学習	≟続き(宿舎・ビザ・保		プログラム開	三雄	

3ヶ月未満の留学 プログラム一覧(国際本部担当プログラム)

大学を通じて応募する3ヶ月未満の留学プログラムのなかにも、語学力の向上を目的とする語学学習系から、アカデミックなテーマについて授業・ディスカッションを行う講義受講系のもの、それら両方が組み合わさったもの、フィールドワークを含むものなど、様々なものがあります。 60を超える各種サマー及びウィンタープログラムについて、東京大学本部では、2016年度に3回にわけて募集する予定です。その他にも、プログラムごとに単発で募集するものもあります。

※下記情報は2016年2月現在の予定となり、変更となる場合があります。

[概算]	プログラム名	開催地	時期	授業料·宿泊費 [概算]	募集人数 (本学内での募 集人数)	語学レベル	募集 開始	応募 締切	備考
------	--------	-----	----	-----------------	-------------------------	-------	----------	----------	----

世界各国で開催される、既存のサマープログラムへ、東京大学からの奨学金付き*で参加を希望する学生を、まとめて募集します。 語学学習中心のものから、専門科目を学ぶものまで、様々なプログラムがあります。

東京	東京大学国際本部 奨学金付き夏季短期留学プログラム(2016年第1回)										
海外	外 IARU Global Summer Program	世界8カ国	6~8月の2~6週間	4~70万円(奨学金6 万円~40万円を支給)	40名程度	高 (TOEFL80~100目安)	12月	2月			
1		(派遣先大学)	ARUに加盟する世界トップレベル11大学での夏季留学プログラム。 (派遣先大学)オーストラリア国立大学、スイス連邦工科大学チューリッヒ校、シンガポール国立大学、北京大学、カリフォルニア大学バークレー校、 ケンブリッジ大学、コペンハーゲン大学、オックスフォード大学、イェール大学、ケープタウン大学								
存の短	の 短 東大生海外体験プロジェクト(卒業 期 生有志の学部生短期留学支援プロ	世界各国	5月~9月の数週間	0~100万円(奨学金 6万円~48万円を支給)	未定	プログラムにより異なる	12月	2月			
期留		卒業生有志の支援により、海外有力大学のサマープログラムや語学研修に学部学生を派遣。 (2016年派遣先大学の例)台湾:国立台湾大学 アメリカ:イェール大学、カリフォルニア大学各校(バークレー校、デービス校、ロサンゼルス校)、ベンシルバニア大学、シカゴ大学 カナダ: ブリティッシュ・コロンビア大学 フランス:パリ政治学院、フランス国立応用科学院リヨン校ドイツ:ケルン大学、ベルリン自由大学 オランダ:ユトレヒト大学 英国:サセックス大学、ロンドン大学									
ロ グ	ᆂᄴᄡᄼᄯᇸᅈᄴᆠᄺᆌᇚᇨᆝ	世界各国	5月~9月の数週間	0~100万円(奨学金 6万円~24万円を支給)	未定	プログラムにより異なる	12月	2月			
ラム	大学院生短期留学支援プログラムム		学院学生を海外大学サマープログラム又は語学研修に派遣。 2016年派遣先大学の例) 台湾:国立台湾大学 アメリカ:イェール大学、カリフォルニア大学各校(バークレー校、デービス校) ドイツ:ケルン大学								

海外パートナー校と連携して、東大生のためにつくったサマープログラムとウィンタープログラムへ、東京大学からの奨学金付き*で参加を希望する学生を募集します。

「京大学国際本部 奨学金付き夏季短期f 	留字フロクフム	(2016年第2回)						
† 北京大学・東京大学合同サマープログラム	中国	8/20-8/31	15万円程度	12名	英語でディスカッション等 できるレベル			フィールドワーク+講家
プログラム † 香港大学·東京大学合同サマー プログラム † ソウル大学·東京大学合同サマー	香港	8/2-15	10万円程度	15名	英語でディスカッション等 できるレベル			"
† ソウル大学・東京大学合同サマープログラム	韓国・日本	未定	未定	15名 (学部学生)	英語でディスカッション等 できるレベル			
マスタイプログラム サマープログラム	英国	未定	未定	24名 (学部学生)	中(TOEFL65-80目安)	4月	5月	英語による講義+事 事後セミナー+語学研り
京大学国際本部 奨学金付き冬季短期間	留学プログラム	(2017年) [予定]						
† 国立台湾大学・イリノイ大学・東京大学合同ウィンタープログラム	台湾·日本	未定	未定	未定	英語でディスカッション等 できるレベル	未定	未定	フィールドワーク+講家
† カリフォルニア大学サンディエゴ 校ウィンタープログラム	アメリカ	1月下旬頃	2900米ドル (前回実績)	24名程度 (学部学生)	中(TOEFL65-80目安)	10月	12月	英語による講義+事 事後セミナー等

海外大学や国内外の団体等のプログラムについて、プログラムごとに単発で参加希望学生を募集します。

その他のプログラム								
CSPC Presidential Fellows Program	アメリカ	10月・3月の1週間ずつ	主催者が負担	1名	高(米国学生と比べても 問題ない程度)	4月頃	5月頃	ワシントンDCでの研修及 び研究(米国政治関係)
ストックホルム国際青年科学セミナー	スウェーデン	12月の1週間程度	国際科学技術財団 が負担	2名	英語力を駆使して十分な コミュニケーションがとれ ること	7月	8月	ノーベル賞授賞式への 出席のほか、世界の学生 と交流
パリ政治学院(Sciences Po) European Studies Programme	フランス	2~3月の4週間程度	4,000ユーロ程度	7名程度	高(TOEFL87または IELTS 6.0必須)	10月頃	11月頃	使用言語は英語。日本 の学生向けプログラム
イオン1%クラブ	東南アジア諸国	1週間程度	主催者が負担	若干名	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	4月頃	5月頃	環境問題をテーマにアジ アの学生とのディスカッ ション、交流

- ※各項目は、あくまで目安として簡潔に記載しています。募集開始、締切、開催内容等は毎年異なりますので最新情報・詳細はウェブサイト等で確認してください。
- ※費用については、原則として航空賃・生活費等を除いた、授業料と宿泊費の目安を掲載しています。
- ※ † 印のものは2016年2月現在、開催に向けて調整中のため、各項目は暫定的な情報です。

^{*}奨学金の受給には、一定の条件を満たす必要があります。

教養学部前期課程 主題科目「国際研修」

主題科目「国際研修」は、前期課程の学生が、異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現場を体験し、グローバルな視野を養うことを目標とする授業です。授業内容としては、(1)海外教育機関との共同プログラム、(2)現地の学生との合同見学・合同実習等を含む短期の海外研修、(3)海外の学生との合同国内研修、といった様々な活動があります。そのような機会によって得られる成果が、主題科目の単位として認定されます。

「国際研修」は、 $6\sim8$ 月(9月上旬を含む)、1月末 ~3 月に実施されます(海外に渡航する前に、通常のセメスター/ターム中に事前講義を実施する場合もあります)。

「国際研修」の受講にあたっては、海外渡航経験の有無は問いません。「国際研修」はむしろ、学生にとってのはじめての海外経験を、後押しする科目です。進んで自分の視野を開こうとする、学生の積極的な参加姿勢がのぞまれます。

なお、授業によっては、参加者の選抜を行ったり、ある水準以上の語学力を求めたりする場合があります。学生が負担する費用については、 授業によって異なるので、詳細はそれぞれの授業のシラバスを参照し、ガイダンスで説明を受けて下さい。

2016年度6~8月は以下の授業の実施が予定されています。

講義題目	研修地
UTokyo/ANU Exchange in Tokyo	日本
UTokyo/ANU Exchange in Canberra, Australia	オーストラリア
Tokyo: Representation and Reality	日本
The University of Tokyo Summer Internship Program in Kashiwa (UTSIP Kashiwa)	日本
イタリア語イタリア文化海外研修	イタリア

*上記の予定は変更される場合があります。このほかに英語力強化のための集中研修、スペイン語圏での研修等、検討中の企画もありますので、シラバスで確認して下さい。

*本科目についての問い合わせ先:教養学部 国際交流センター グローバリゼーションオフィス 国際研修担当 (globalpraxis@global.c.u-tokyo.ac.jp)





各学部・研究科などで実施されるプログラムの例

東京大学リベラルアーツ・プログラム(教養学部・総合文化研究科)



リベラルアーツ・プログラム(LAP)は、教養教育を海外へ発信し、学生交流を通じてグローバルな視野と総合的判断力を備えた人材の育成を目指す教育交流プログラムです。中国の南京大学と連携し、(1)毎年3月に学部1年生から院生までの混合チームを派遣してフィールドワークとグループ討論を行います(1週間派遣)。(2)毎年8月に南京大学で中国語の特訓サマースクールを実施し、中国語履修の学部2年生を派遣します(3週間派遣)。(3)毎年11月に南京大学の学生を駒場に招き、東京大学一週間体験プログラムを実施。東大生とともにフィールドワークとグループ討論を行います(1週間)。さらに、(4)学部3年生以上を対象に、中国語上級サマースクール「深思北京」を、中国人民大学と連携して、秋に開講しています(1週間派遣)。詳しい紹介と参加者の体験談はLAPのウェブサイトをご覧ください。意欲的な学生の参加を期待します。

対象学生:主に学部学生を対象とするが大学院生も参加可。専攻・学年の別は問いません。 実施期間・時期:上記参照。

応募方法:レポート審査もしくは面接。

問い合わせ先:総合文化研究科・教養学部附属教養教育高度化機構国際連携部門

海外大学院とのダブル・ディグリー・プログラム(公共政策学教育部)



東京大学公共政策大学院(GraSPP)は、東京大学の大学院の 中で最も留学生比率の高い大学院です。英語のみで学位が取れ るプログラム (MPP/IP) や日中韓交流プログラムであるキャンパス アジアがあり、常時約100名、30か国近くからの留学生で賑わっ ています。またGraSPPには、充実した留学プログラムがあります。 GPPN(Global Public Policy Network:世界公共政策ネット ワーク)の協定校6校を始め、キャンパスアジアの協定校2校など、 10大学と交換留学やダブル・ディグリー・プログラム(DD)を行って います。2016年にはさらに協定校が3、4校増える見込みです。交 換留学またはDDによって毎年25名程度の学生が派遣され、25名 程度の留学生を受け入れています。ダブル・ディグリー・プログラムと は、東大で1年、海外の協定校で1年学ぶことによって最短2年で 二つの大学からそれぞれ学位を取得することができるプログラムで す。DDが出来る協定校は、コロンビア大学(ニューヨーク)、パリ政 治学院(パリ)、シンガポール国立大学(シンガポール)、ヘルティ・ス クール・オブ・ガバナンス(ベルリン)、ソウル大学校(ソウル)、北京 大学(北京)です。2016年から2017年にはロンドン・スクール・オ ブ・エコノミクス・アンド・ポリティカル・サイエンス (ロンドン)、オースト ラリア国立大学(キャンベラ)ともDDを開始する予定です。詳細に ついては公共政策大学院のウェブサイトを参照してください。

対象学生:公共政策学教育部の大学院学生 説明会:毎年10月(入学前の方の参加も可)

実施期間:交換留学は1クオーターから1年、ダブル・ディグリーは1年

公共政策大学院: http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/index.html

問い合わせ先:exchange@pp.u-tokyo.ac.jp, campusasia@pp.u-tokyo.ac.jp

UTokyo Innovation Summer Program (知の構造化センター)



UTokyo Innovation Summer Program(TISP)は、東京大学i.schoolが提供するイノベーション教育を、世界中から選抜された大学生との他流試合を通じて学ぶ2週間のサマープログラムです。東大生は、世界中から選抜された学生と共に、イノベーションを生み出す作法を東京で学び、その後、東北や他地域に場所を移動し、実社会の課題に対して学んだ作法を実践します。過去3回実施されたプログラムでは、海外からはハーバード大学、スタンフォード大学、UCバークレー、オクスフォード大学、デルフト工科大学、清華大学をはじめとする学生が選抜され、プログラムに参加しました。いままでイノベーションについて学んだことがない場合でも問題はなく、むしろ本プログラムを通じて学び、実践し、同じ志をもつ仲間をみつけることで、将来、世界を舞台にイノベーションを生み出せる人材になることが期待されています。

対象学生: 学部学生・大学院学生(専攻・学年の別は問いません)

実施期間・時期:2016年8月1日~8月12日(予定)

応募方法:オンラインページからの応募(東大生の募集期間:4月末~5月末を予定)

URL: http://ischool.t.u-tokyo.ac.jp/summer/

問い合わせ先:sp info@ischool.t.u-tokyo.ac.jp

角川寄附講座サマープログラム(情報学環)



大学院情報学環は一般財団法人角川文化振興財団からの寄付 により、日本のポップカルチャー・メディア文化に関する教育・研究 を国際的にリードしていくことを目的として、2013年11月「角川文 化振興財団メディア・コンテンツ研究寄附講座」を開設しました。サ マープログラムは本寄附講座の主な活動の一つです。このプログ ラムでは毎年10日から2週間、東京大学の学生だけでなく国外大 学所属の学部生・大学院生を受け入れて、日本のポップカルチャー やメディア・コンテンツをめぐる諸現象を学ぶとともに、コンテンツ 制作等の実践的経験を積む機会を提供しています。昨年第二回は 「メディア化された世界一社会性、公共性、セレブリティ」をテーマ としました。国外大学生の募集数20名に対して、シカゴ大学、ミシ ガン大学、香港大学、シンガポール国立大学などから200人以上 が応募、学内からは10人が参加しました。三回目の今年は「アニ メーション:生命力」と題し、「命を吹き込む」という意味のアニメー ションという考え方について様々な分野の視点から考察します。プ ログラムでは本学所属講師に加え、国内外から日本のポピュラーカ ルチャー分野における最先端の研究者による講義、様々なイベント 調査も行います。

対象学生:東京大学学部3,4年生ならびに大学院生(専門分野は問いませんが、書類審査はエッセイ課題を含みます。)

実施期間: 2016年7月4日-7月14日

応募方法:東大在学生向け応募要項は3月初旬発表予定

問い合わせ先: animatinglife2016.inquiry@gmail.com

4. その他の留学

1学期~1年の留学(交換留学以外)

交換留学以外の方法で1学期~1年留学する場合、以下のような方法があります。基本的には授業料等の費用は全て自己負担となりますが、中には奨学金つきプログラムや授業料が割引となるプログラムもあります。また、東京大学や民間財団などの留学用の奨学金に応募することもできます。(P34参照)

【大学公募】カリフォルニア大学バークレー校・デービス校派遣プログラム(UC派遣プログラム)

カリフォルニア大学2校との協力により、 東大生を1学期~1年派遣する留学プログ ラムです。東京大学を通じて応募すること が可能です。

【個人応募】海外大学のVisiting Student プログラムなど

海外の大学では、Visiting Studentなどの身分で他大学の学生を1学期~1年間受け入れる大学もあり、そのような大学に個

人で応募することも可能です。

【個人応募】学外の団体や民間奨学金による留学プログラム

学外の団体を利用すると留学手続きの サポートなどを受けることができますが、その 分費用が高くなる傾向があります。ただし、 民間の奨学団体などにより奨学金が支給さ れるプログラムもあります。

3ヶ月未満の留学(個人応募)

毎年夏には、世界中の大学が、他大学の学生も履修可能な集中講義や語学研修などのサマープログラムを実施します。このようなプログラムに個人で応募し、参加することも可能です。民間の留学斡旋業者も多くの留学プログラムを実施しています。

個人応募の場合、費用は全て自己負担 となりますが、東京大学や民間財団などの 留学用の奨学金に応募することも可能で す。ただし、3ヶ月未満の留学用の奨学金 は、1学期~1年の留学に比べて数が少なくなっています。(P34参照)

個人応募で留学する場合の注意事項

手続き等をすべて自己責任で進めることになります。期間やプログラムの内容、費用、参加条件など予め十分な情報収集を行ってください。学外の団体を利用する場合は、自分自身の責任と判断により信頼性を確認し、自分の目的に合った団体・プログラムを選んでください。

参考:日本学生支援機構「留学斡旋業者 の利用について」

http://ryugaku.jasso.go.jp/oversea_info/basic/agency/

また、応募前に、個人で留学する場合の 留意点について、留学時の東京大学での 所属学部・研究科等の担当部署に必ず確 認・相談してください。参加が決まったら、安 全と危機管理(P41参照)の面でも十分注 意してください。

その他の留学プログラム(個人応募のプログラムなど)の例

1学期~1年のプログラム

プログラム名	開催地	時期	費用(授業料・宿泊費)	募集人数	語学レベル	応募締切	備考		
カリフォルニア大学パークレー校・デービス校派遣プログラム (UG派遣プログラム)	アメリカ	バークレー:1学期~1年 デービス:1クォータ(11週) ~1年	バークレー:20,000米ドル/学期 デービス:授業料6,495米ドル/ クォーター+宿泊費	バークレー: 5名程度 デービス: 20名	バークレー:高 (TOEFL90以上) デービス:中~高 (TOEFL71~80*) *no sub-score below 19	4月 (3月募集開始)	東京大学を通じて応募。正規授業履修 や英語学習など		
イリノイ大学 小山八郎記念奨学留学生	アメリカ	8月-5月	授業料免除	4名	高(TOEFL 79、 IELTS 6.5)	10月	イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校教 養学部への留学		
ベイツ大学 平沢和重奨学基金	アメリカ	9月-5月	授業料・寄宿舎費用を全額支給	1名	高	12月	大学1~3年生を優先		
The Study Abroad Foundation SAF留学	世界各国	プログラムにより異なる	プログラムにより異なる						
ハーバード大学 Visiting Undergraduate Student Program	アメリカ	8月-12月 and/or 1月-5月	授業料 5,204米ドル/course 宿泊費 4,762米ドル/semester	不明	高	4月(8月留学) 10月(1月留学)			
コロンビア大学 Visiting Student Program	アメリカ	9月-12月 and/or 1月-6月	授業料 50,526米ドル/year 宿泊費・食費 12,860米ドル/year	不明	高(TOEFL 100、 IELTS 7)	3月(9月留学) 10月(1月留学)			
オックスフォード大学 Visiting Student programme at St Peter's College	英国	10月-6月	24,984~32,519ポンド/year	不明	高(TOEFL 110、 IELTS 7)	1月			
London School of Economics and Political Science The General Course	英国	9月-5月	18,240ポンド/year+宿泊費	不明	高(IELTS 7)	1月~6月頃 (定員に達した 時点で終了)			

3ヶ月未満のプログラム

プログラム名	開催地	時期	費用(授業料·宿泊費)	募集人数	語学レベル	応募締切	備考
世界各国の有力大学 Summer Session, Summer School	世界各国	5月~8月頃	数十万円	多数	高(プログラム により異なる)	3月~5月頃	世界の有力大学の夏季集中講義に個 人応募で参加可能 例:ハーバード大、スタンフォード大等
International Summer School, New Delhi (会場:Jawaharlar Nehru University)	インド	6月26日-8月5日	3,800米ドル或いは3,400米ドル (宿舎によって異なる)(うち授業料 1,400米ドル分の奨学金あり)	東大生へ の奨学金 は2名		4/30	インド政府観光省後援のプログラム。 東大生限定の奨学金(授業料1,400米 ドル相当分)を2名に支給予定
カリフォルニア大学各校 Extension (附属語学学校)	アメリカ	随時	数十万円	プログラム による	中~低	随時	カリフォルニア大学各校には附属の語 学学校があり、海外学生を受け入ている
VIA Stanford Programs	アメリカ	春・夏の数週間	2,700~6,900米ドル		プログラムに	よる	VIA(米国NPO)によるスタンフォード大学等でのプログラム。医療、社会変革、 計会起業家、語学等のプログラム

※各項目は、あくまで目安として2016年2月時点での情報を簡潔に記載しています。募集開始、締切、開催内容等は毎年異なりますので最新情報・詳細はウェブサイト等で確認してください。 ※費用については、原則として航空賃・生活費等を除いた、授業料と宿泊費の目安を掲載しています。 ※TOEFLはiBTスコアを記載しています。 ※上記は一例で、他にも様々なプログラムがあります。

GLP-GEIL グローバルリーダー育成プログラム

GLP-GEfIL (Global Education for Innovation and Leadership) は、国際社会における指導的人材の育成を目的とした学部学生対象の特別教育プログラムです。GLP-GEfILでは、プログラムの一環として、世界トップレベルの大学の厳選されたサマープログラム等に参加する機会を設けています。また、海外派遣にあたっては、協賛企業の寄付による奨学金(地域、期間等に応じて最高100万円まで)を支給します。

GLP-GEfILは、語学力や意欲等により選抜された学生が履修できます。学部2年生(PEAK学生は1年生)を対象に、年度に一回、選抜を行います。詳細はウェブサイトをご覧ください。



GLP-GEfILウェブサイト: http://www.glp.u-tokyo.ac.jp facebook: https://www.facebook.com/Utokyo-Glp-Gefil-東京大学グローバル リーダー育成プログラム-589069901189419/

GLP-GEfIL海外プログラム派遣先例(2016年度)

プログラム名	開催地	期間
LSE-PKU Summer School in Beijing	中国	8月 2週間
Stanford Summer International Honors Program (SSIHP)	アメリカ	6月~8月 8週間
Harvard Summer School	アメリカ	6月~8月 7週間
Washington U. in St Louis, McDonnell Academy International Leadership Institute	アメリカ	7月~8月 5週間
Pembroke-King's Summer Programme	イギリス	6月~8月 8週間
LSE Summer School	イギリス	6月~8月 3週間
Oxford: International Politics Summer School	イギリス	7月~8月 2週間
Geneva Graduate Institute Summer Programme on International Affairs and Multilateral Governance	スイス	6月~7月 3週間
Munich Summer Curriculum (MSC) "Electronic Media"	ドイツ	6月~8月 9週間
Bonn University, Summer School on Renewable Energy	ドイツ	7月~8月 5週間
Humboldt University Berlin, Summer School	ドイツ	6月~8月 4週間
Summer School in Global Health Challenges, Copenhagen	デンマーク	8月 2週間
HEC Paris Summer School	フランス	6月~7月 2週間
Venice International University	イタリア	7月 2週間
Grotius Centre for International Legal Studies (Leiden University)	オランダ	6月~7月 2週間

GLP-GEfILの概要

●GEfIL実践研究

学生自身が関心を持つ地球規模の問題を対象に、創造的・学術的な研究プロジェクトを設計・ 実施していくことを目標とします。

②GEfIL海外プログラム

3年次及び4年次に、世界トップレベルの大学の厳選されたサマープログラムやインターンシップ、海外でのボランティア活動に参加します。

3グローバルリーダー講義

世界の第一線で活躍しているビジネスリーダー、起業家、国際的専門家を迎えて行う講義です。

4GEfIL共通授業科目

高度なグローバル教養や、実践的な外国語能力の育成、アカデミック・スキルの獲得等を目指す 英語で行われる授業科目群です。



協賛企業

GLP-GEfILの海外プログラムの奨学金は、趣旨にご賛同いただいた下記の企業様の支援によって実現しています。

株式会社IHI、旭化成株式会社、アステラス製薬株式会社、エーザイ株式会社、大塚製薬株式会社、JFEホールディングス株式会社、 塩野義製薬株式会社、住友商事株式会社、住友生命保険相互会社、住友不動産株式会社、武田薬品工業株式会社、 東海旅客鉄道株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、東レ株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、富士電機株式会社、 株式会社三井住友銀行、三井不動産株式会社、株式会社三菱ケミカルホールディングズ、三菱重工業株式会、三菱電機株式会社、 株式会社LIXIL(2016年2月時点)

5. 留学体験談

国際体験とひとくちに言っても、その方法は様々です。

どんな方法がよいかは、みなさん一人一人で違います。

ここからは、留学経験者の体験談を掲載します。

全学交換留学、短期のサマープログラム、個人応募での留学など、

様々な方法でかけがえのない体験をした先輩たちの生の声をききながら、今の自分にぴったりの方法を考えてみませんか。

きっとその過程も楽しいはずです。



交換留学体験談



氏名:島 めぐみさん

所属学部・研究科・学年(留学開始時):教育学部教育実践・政策学コース 4年

留学先大学名: ヘルシンキ大学 留学プログラム名: 全学交換留学

留学期間:2015年9月~2016年5月

北欧フィンランドを肌で感じた一年間

教育先進国での豊かな学び

ヘルシンキ大学は、首都中心部に位置するフィンランド最古かつ最大の総合大学です。留学生向けの授業は英語で行われ、形式はレクチャーから少人数ゼミまで様々です。1学期あたりの授業数は平均3~4コマで、学期末にエッセイやプレゼンテーションが課されます。私は教育学部に在籍し、主にフィンランドの教育制度や教員養成について学んでいます。他学部の授業も履修可能で、秋学期にはフィンランド語講座を受講しました。ヘルシンキ大学のいいところは、教授と学生の距離が近いことだと思います。私はフィンランドの教育現場に関心があったため、個人的にお願いして学校見学の機会を作っていただきました。また、留学生同士で集まって教育問題について議論を交わすことで、フィンランドだけでなく世界各国の教育事情を知ることができ、とても勉強になっています。

フィンランドを知る

授業以外の時間では、日本語クラスのアシスタントや着付同好会の活動を通して、日本に興味を持つフィンランド人学生と交流しています。週末は留学生仲間と過ごすことが多く、アイスホッケー観戦やスモークサウナなど、フィンランドならではの体験を共有しました。休暇中にはラップランドを訪れ、念願のオーロラを見ることができました。私は留学生活を通して、旅行では味わえない四季の移り変わりや人々の暮らしを肌で感じるうちに、フィンランドが大好きになりました。それと同時に、ここでの生活は私を学業面でも精神面でも大きく成長させてくれました。国を越えてかけがえのない友達を作ることができたことも、留学して良かったと思うことの一つです。言語の壁と文化の違いを同時に経験する留学生活は、決して楽しいことばかりではありません。しかし苦労する分、得られるものは大きいです。好奇心と勇気を持って、一歩踏み出してみてはいかがでしょうか。







フィンランドは治安が良く英語も通じるので、とても暮らしやすい です。留学というと英語圏を思い浮かべることが多いですが、自 分がやりたい勉強ができるところに行くことが一番だと思います!



氏名:矢吹 公啓さん

所属学部·研究科·学年(留学開始時):法学部·第1類 3年

留学先大学名:プリンストン大学 留学プログラム名:全学交換留学 留学期間:2015年9月~2016年5月

多様な可能性と自己との対話への扉としての留学

様々な可能性の開かれた環境

アメリカ東海岸に位置するプリンストン大学で、私は約9ヶ月間主に国際政治と公共政策を中心に勉強しています。プリンストン大学はリベラルアーツ色が強い一方で、大学院の授業を履修する事ができたり、学部生向けのフェロープログラムが充実していたりと、自分の興味に合わせた幅広い勉強の機会が開かれています。課外では、様々なスポーツクラブや学生団体が存在している外、ボランティアや様々なプログラムの告知も多く、積極的に参加し活動することで多様な経験を得ることができます。またニューヨークから電車で一時間半程なので、ニューヨークで行われるイベントなどにも足を運べるのが魅力の一つです。私は週末を利用して国連のイベントなどに出席していました。

また全学交換留学システムの下では、授業や生活など現地の学生と同じ生活をする機会に恵まれます。プリンストン大学は交換留学生の受け入れが少ない(全体で15名程)ため、常に現地学生に囲まれての生活となる、充実した環境がそろっています。

他国の中で自己を振り返る

私はこの留学が長期で海外に滞在する初めての経験であったため、初めの3ヶ月ほどは、英語を含め、日本と大きく異なる教育システムに慣れるのに苦労しました。特に10枚以上のペーパーの課題が出される事もしばしばで、寮の図書館で寝泊まりすることもありました。しかしながら新たな環境に適応しようと必死に努力する中で、「タフ」さや「グローバル」な視点が鍛えられることはもちろん、逆に自分の強みや弱み、自分とは誰なのかを深く振り返ることができるようになりました。留学の大きな意義の一つは、そうした自分がおかれてきた環境や自己を客観的・相対的に見られるようになることなのかなと感じています。留学に踏み出すまでは、悩む事も多いと思いますが、学部生での留学は人生で一度きり。思い切って一歩を踏み出せば、そこには新しい世界や可能性が広がっていると思います!







現地の学生はオンオフの切り替えが非常に上手です。膨大な 課題を課される中でも、課外での活動は盛んです。また週末は イベントで大変盛り上がります。



氏名: 李 徳洋さん

所属学部・研究科・学年(留学開始時): 教養学部理科一類 2年 留学先大学名: カニフォルニア大学バークレー校

留学プログラム名: Summer Session E

留学期間:2015年7月~2015年8月

バークレー校での一夏の思い出

Top Schoolでの学校生活

カリフォルニア大学バークレー校は、アメリカTopの州立大学の一つです。理工系では世界一を争う名門校であると同時にリベラルアーツにも非常に力を入れています。私が参加したSummer Sessionは1ヶ月から3ヶ月現地の学生と共に期間中開講されている授業を受けるものです。私は7月末から約1ヶ月3つの人種に関する授業を受講しました。各授業は週2回の講義と一回のディスカッションから構成されます。授業形式はというと日本で良く見る、大人数での消極的座学型と全く違い、少人数での積極的参加型のものが多いです。また短い期間ではありましたが、毎回の授業後には大量の宿題が出され、みっちり学ぶことができます。

「一夏の恋」のすすめ。

私がカニフォルニア大学バークレー校への留学を希望したのは、大

学院進学への準備をしたかったからです。大学院留学は学位取得を目的にする為、長期間での生活になります。しかし、晴れて大学院に進学して、ここの雰囲気自分に合わない、となったら自分の貴重な時間がもったいないですよね?それを避ける為、また留学したことのなかった自分は、そもそも留学ってどんな感じか?という疑問への答えを出す為に、「一夏の恋」程度の手軽な短期留学を希望しました。実際期間中は現地大学生7人との共同生活を通し英語でコミュニケーションを取ることの難しさを痛感したり、英語で長編のエッセイや期末テストを受けるといった経験をすることができ、十分に良い「恋」ができたのではないかと思っています。私と同じ様に将来学位取得を目的とした留学をしたいが、留学を体験したことのない方は、まずは短期留学をし、実際に飛び込んでみることをお勧めします。皆さんの留学が素敵なものになりますように!

氏名: 碓井 晃樹さん

所属学部·研究科·学年(留学開始時):教養学部文科一類 1年

留学先大学名:国立台湾大学

留学プログラム名:国立台湾大学・東京大学合同サマープログラム

留学期間:2014年8月~9月



「小さな東アジア | の体験

共に過ごすことで「国籍」を超えた繋がりに

私が参加したのは国立台湾大学と東大との合同サマープログラムで、両大学の学生それぞれ12人ずつが参加しました。日台の学生が混ざって班に分かれ予めテーマを設定し、講義と外部訪問での内容を踏まえ最終日にプレゼンを行うという流れでした。講義・外部訪問で印象深かったのは日台中関係や台湾の学生運動など政治的な面でのお話です。総統府や民進党本部でお話を伺うことができるなど非常に有意義な学習でした。また、始めから班に分かれたことにより両者の打ち解けも早くプログラム外での活動も楽しいものでした。有名な夜市や九份など多くの観光地に一緒に行くことができ、学習以外の面でも非常に充実していたと感じています。

全体として満足度の高いプログラムでしたが、その中でも最も印象的だったのは、参加者の幅の広さです。東大側の参加者には在日韓国人の方や中国人留学生の方もいて、日台中韓の「小さな東アジア」がそこにはあり、多くの刺激を受けることが出来ました。歴

史認識問題など非常に敏感な話題に関しても臆することなく意見を交わすことができ、それまでの自分の視野の狭さを実感することも多々ありました。これも、3週間共に過ごし「国籍」を超えて一人の「人間」同士として打ち解けられたからこそであり、このプログラムの最大の長所だと思います。

海外を知るなら、まずは「最も近い外国」から

留学、と聞いて欧米ばかりをイメージするのは非常に勿体ないと思います。グローバル人材への第一歩として、まずは「最も近い外国」である台湾を知ることが、外国人との価値観の相違点・共通点を認識していく訓練になるのではないでしょうか。英語は伝えようと頑張れば案外伝わるものですし、話してみなければ上達しません。特に私のように海外経験が浅い人はとにかくこのプログラムに参加し、外国の方と直に触れ合って外国を自分にとってより近い存在にすることが重要だと思います。



氏名:田中 絢子さん

所属学部·研究科·学年(留学開始時):教養学部·文科2類 2年

留学先大学名: カリフォルニア大学バークレー校

留学プログラム名: AISP program 留学期間: 2015年8月~2016年5月

とにかく盛り沢山。それがバークレー。

勉強、行事、そしてサンフランシスコ

AISPは政治学の講義を受講するプログラムですが、興味があれば他学部の授業を取ることもできます。私は政治学に加え、ゲーム理論や微積分・線形代数を受講しました。

現地での学習は大変刺激的でした。バークレーの教授は喋るのが早く、講義の中でもリスニングを鍛えることができます。またセクションでは学期に一回プレゼンテーションを行わねばならず、英語での発表力も鍛えられます。ほとんどの授業で毎週宿題が出る他、レポートも多いので勉強は忙しいです。ただ、その分サポートは充実しており、教授やGSIは毎週オフィスアワーを設けて丁寧に質問に答えてくれます。

また、行事が非常に多いのもバークレーの特徴です。ほぼ毎週何らかの学内イベントがあるに加え、近くのサンフランシスコでも多くの催し物が開催されます。寮内でも旅行やバスツアー、ダンス教室な

ど様々な行事があり、勉強のリフレッシュに最適です。学生証でバスに無料で乗ることができる為、サンフランシスコや近場の名所にも行きやすいです。私はよく休日にはサンフランシスコに行き、街歩きをして気分転換をしていました。

私が気をつけるようにしていたこと

私が感じたことは、留学においては自分がそこで本当に何を得たいのか、経験したいのかを考えることが大切であるということです。なぜならそれによって自身の過ごし方が全く変わってしまうからです。私は留学してすぐの頃、勉強と行事の両方に忙殺され、生活のペースをつかむことができませんでした。日本で立てた計画は上手くいかないことの方が多く、ふとすると周囲の過ごし方や課題の多さに流されがちです。でもそんな時こそ、自分の目標を見つめ直し、それに向かって頑張ってみるべきなのだと感じました。

氏名:山根 拓哉さん

所属学部·研究科·学年(留学開始時):文学部行動文化学科 3年

留学先大学名: カリフォルニア大学デービス校 留学プログラム名: Global Study Problem 留学期間: 2015年9月~2016年6月



カリフォルニアで学んだ、格好つけず挑戦する生き方

図書館で徹夜しながらも充実した毎日

カリフォルニア大学デービス校 (UCD) はUCLAやUCBerkeley 等と同じくUCシステムに属する大学で、デービスというサンフランシスコから車で1時間半程の街にあります。デービスはUCDを中心にアパートやレストラン、娯楽がある程度の小さな街ですが、車を使えば週末等にサンフランシスコやサクラメントに行け、私はLAにも行きました。プログラムには世界中から学生が参加していて、現地の学生と一緒に正規の授業を受けられます。私はThird-World Development, Social Inequality, Statistics, Macroeconomics, Film Studies等の授業を受講しました。専攻外の授業やアメリカにしかないような授業も受講出来ますが、1授業につき3時間の授業とディスカッション、数回のMidterm、レポート、Finalがあるので毎日とにかく勉強します。ディスカッションでは予習とそのアウトプットが求められます。試験前は図

書館で徹夜するほど勉強は大変ですが、課外活動も活発で私は Tennis club、Christian Fellowship、Japanese American Association等に属して沢山の友人が出来ました。

多様性を受け入れ、自分の殻を破ろう

留学では英語力やアカデミックな知識が身に付くだけでなく、人間として大きく成長出来ると思います。アメリカの学生は堂々としていて自分の意見を人前でもどんどん主張します。また非常にオープンマインドで積極的に人と関わろうとします。現地の学生と接する中で恥ずかしからず自分の殻を破って積極的に人と話したり意見を主張したり新しい事に挑戦する事の大切さを実感しました。また西海岸は様々な人種に溢れているため差異を多様性として受容する文化があり、「自分と違う人」により寛容になれるようになるはずです。最後は直感です。是非一歩踏み出してみて下さい。

6. 留学の計画と準備

留学を成功させるポイント

① 留学の目的を明確にする

自分の専攻分野に関する知識を深めたい、専攻以外の分野を 学びたい、語学力を向上させたい、国際的な広い視野を身につ けたいなど、留学の目的を明確にしてください。

② 自分に合った留学方法を検討する

留学期間(数週間、1学期、1年、1年以上)、留学方法(3ヶ月 未満のプログラム、交換留学、個人留学、卒業後の大学院留 学など)を検討してください。

③ 留学のための情報を集める

留学プログラム、留学先の大学、留学資格、留学に要する費用、奨学金、語学試験、必要書類等の情報を集めてください。

④ 語学を勉強し、語学試験を受ける

留学先が定める語学試験を受け、求める基準に達する必要が あります

⑤ 東京大学での学業に励む

留学や奨学金の選考等においては、学業成績も考慮される場合がほとんどです。ただし、語学力・志望理由・学習(研究)計画・面接等も含め、総合的に選考されますので、積極的にチャレンジしてみてください。

留学準備計画表

記入例や右ページの留学時期のパターン(実例)を参考に、自分の計画を立ててみましょう。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生												
2年生												
3年生												
4年生												

記入例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生	入学	留学フェア参加	体験活動プログラムに 応募		体験活動プログラムに 参加			TOEFL受験	夏季短期留学説明会参加		夏季短期留 学に応募	
2年生		留学フェア参加	夏季短期 留学準備		夏季短期留 学プログラ ムに参加	TOEFL受験	全学交換留 学に応募	全学交換留 学学内選考				協定校への 申請手続き など
3年生		留学フェア 参加			サークル 活動引退	全学交換 留学で留学	留学	留学	留学	留学	留学	留学
4年生	留学	帰国			就職活動	就職活動						卒業



学部での全学交換留学 留学時期のパターン(実例)

[注意事項

- ※ここでは、参考例としてこれまで全学交換留学で留学した学生の留学時期のパターン(実例)を数例示しています。ここで示したパターンが全てではありません。
- ※実際の留学の際は、所属学部の教務スケジュールや各個人の本学での単位取得状況などにより変わります。下記パターンを学生が自由に選択できる訳ではないのでご注意ください。交換留学計画段階で所属学部の担当部署で相談・確認するなど情報収集を綿密に行ってください。
- ※留学先で取得した単位の本学での取扱いや、外国大学との学期のずれにより東京大学の授業に一定期間出席できない場合の取扱い(留学前に何学期まで東京大学で授業を履修し、留学 後に何学期から授業の履修を開始できるか)は、所属学部によって異なります。詳細は所属学部の担当部署で確認してください。
- ※実際の留学期間は各協定校の学年暦により異なります。協定校のウェブサイト等で確認してください。

Aさんの	Aさんの場合 留学期間: 約1年 (ヘルシンキ大学留学)		4年	で卒業	3年・秋か	3年・秋から留学						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年生						応募期間	応募期間	学内選考	学内選考			
3年生	協定校への 申請		協定校受入 許可		留学開始							
4年生		留学終了										卒業

Bさんの	場合		留学期間: 1学期 (サンクトペテルブルク大学留学)		4年	4年で卒業 4年・秋から留学							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
3年生						応募期間	応募期間	学内選考	学内選考				
4年生		協定校への 申請	協定校受入 許可		留学開始					留学終了		卒業	

	Cさんの)場合		期間: 約1年 パッシュ・コロンビ		4.5	年で卒業	4年・秋か	ら留学				
ſ		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	3年生						応募期間	応募期間	学内選考	学内選考			協定校への 申請
	4年生			協定校受入 許可			留学開始						
	4年生	留学終了					卒業						

Dさんの)場合	留学期間:約1年 (清華大学留学)		5年	で卒業	3年・秋か	から留学					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年生						応募期間	応募期間	学内選考	学内選考			協定校への 申請
3年生				協定校受入 許可		留学開始						
4年生				留学終了								
4年生												卒業

E	さんの	場合		期間:約1年 ポール国立大学		5年	で卒業	4年・秋から留学					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
31	年生						応募期間	応募期間	学内選考	学内選考			
41	年生	協定校への 申請		協定校受入 許可		留学開始							
41	年生		留学終了										卒業

Fさんの	場合		留学期間: 1学期 (クィーンズランド大学留学)		5年	で卒業	4年・春から留学					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4年生	応募期間	応募期間	応募期間	学内選考		協定校への 申請		協定校受入 許可			留学開始	
4年生			留学終了									卒業

留学等における学籍・単位認定など

留学等のため海外へ渡航する場合には、所属する部局の担当部 署に事前に相談してください。東京大学での学籍上の手続き(留 学願、休学願、海外渡航届など)が必要な場合がほとんどです。学 籍上の取扱いによって、授業料納入の有無や単位互換の可否が 異なりますので注意してください。

[海外渡航の際の主な学籍上の手続き]

- ●「留学」: 留学の手続きをとる
- ●「休学」: 休学の手続きをとる

上記の手続きをとらず、海外渡航する場合は、海外渡航届などの手続きを行ってください。(例:夏季休業期間を利用し、海外大学に語学留学する場合など)

[海外の大学で修学する場合の、学籍上の「留学」と「休学」の違い]

「留学」の手続きによる場合と、「休学」の手続きによる場合の違い について、右に大まかなチャートを示しますので、参考にしてください。 ※交換留学の場合は、「留学」の手続きとなります。

※留学先大学で取得した単位の本学における認定については、事前に留学時の所属部局の担当部署に相談してください。

※以下は一般的な情報です。学部・研究科等により異なる場合があります。

	「留学」の手続きに よる場合 (交換留学)	「留学」の手続きに よる場合 (交換留学以外)	「休学」の手続きに よる場合
留学先大学での 「単位」取得	可	可	可
留学先大学での 「学位」取得	不可	不可	場合により可
留学先大学で の授業料	払わない	払う	払う
東京大学での 授業料	払う	払う	払わない(ただし、休 学開始時期にもよる ので注意が必要)
修業年限	算入される	算入される	算入されない
本学での単位 認定	可(ただし、所属学 部・研究科が承認し た場合)	学部・研究科により 異なる	学部・研究科により 異なる

外国の大学において取得した単位の取扱いに関する規則(学部学生)

《東京大学学部通則》

第3章 留学

■留学

第14条の2

学部長は、教育上有益と認めるときは、学生が<u>休学</u>^{注釈1}することなく外国の大学において授業科目を履修し、単位を取得することを許可することができる。

2 前項の規定により外国の大学において修学する期間は、おおむね1年を限度とするものとする。

■単位の認定

第14条の3

学部長は、学生が留学の期間において修得した授業科目及び単位数については、前期課程においては10単位、後期課程においては30単位を超えない範囲で、本学における相当する授業科目及び単位数を修得したものとみなすことができる。

■申請手続

第14条の4

留学の許可及び単位の認定を受けようとする者は、<u>所定の申請書^{注釈2}</u>を学部長に提出しなければならない。

2 留学許可及び単位認定等の申請手続については、各学部の定めるところによる。

■休学期間中に外国の大学において取得した単位の取扱い 第14条の5

第14条の2の規定にかかわらず、学部長は、教育上有益と認めるときは、学生が休学期間中に外国の大学において授業科目を履修し取得した単位を、本学における相当する授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項により修得したものとみなすことができる単位数は、第14条

の3の規定により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて前期課程においては10単位、後期課程においては30単位を超えないものとする。

3 前2項の規定による単位認定等の申請手続については、前条の規定を準用する。

注釈

- 1 休学して海外修学する場合は、休学期間は在学期間には含まれないため、その分、卒業の時期が遅れることになる。なお、休学期間中に海外の大学等で単位を取得した場合の本学における単位の取扱いは、第14条の5の規定により各学部の定めによるので、教務担当窓口で確認すること。
- 2「留学許可願」を担当窓口に提出する。

留学についての詳細は、留学時に在籍する学部の担当口に 事前に相談し確認すること。

※大学院学生については以下を参照のこと。

- ●東京大学大学院学則 第28条(留学)
- ●東京大学大学院専門職学位課程規則 第23条(他の大学院 における授業科目の履修等)



外国の大学において修得した単位の各学部・研究科の取扱い例

※詳細については、各学部・研究科等の規則や、教務担当窓口で確認すること

学部

法学部

法学部において開設されている授業科目に相当する場合には、これを「相当科目」として認定する。相当科目に該当しない場合において相当と認めるときは、随意科目として認定する。なお、対象とする大学は別に定めがある。

丁学部

当該学科の審査により、科目配当表の単位として認定することができる。また、それ以外の科目についても学科で必要と認めた場合には、卒業単位に算入することができる。

文学部

外国の大学で修得した単位の認定は、交流協定のある大学に「留学」した場合及び休学して外国の大学に「修学」した場合に限る。学部教務委員会において適切と判断された場合は、必修科目または必修科目以外の科目に認定され、卒業単位に含めることができる。

理学部

シラバス、成績等により審査をおこない、東京大学理学部規則別表に定める授業科目及び単位数に振り替えることができる。また、選択科目として、卒業に必要な単位数に会めることができる。

農学部

留学先大学の成績証明書、時間割およびシラバスを指導教員又は学部委員に提出し単位認定を申請した場合、認めることがある。

経済学部

単位の認定・振替は、学生交流協定に基づき「留学」の身分により派遣された場合に限る。学部教務委員会・学部教授会で適切と判断された場合、本学部の基準で単位数を換算の上、単位の振替・認定が認められる。学則・内規に沿って運用をしているので、単位の認定・振替を希望する者は、留学生・国際交流担当チームに事前に相談に来ること。

教養学部(前期課程)

外国の大学で取得した単位の扱いについては 必ず事前に教務課前期課程係(PEAK生は国際化推進係)で説明を受けること。

教養学部(後期課程)

協定締結校に留学等をして取得した単位については、所定の期間内に単位認定を申請した場合、定められた上限単位数まで卒業単位として認定を受けることができる。詳細については「教養学部便覧」を参照のこと。

教育学部

原則として、全学学生交流に基づく交換留学協定校 等、本学からの推薦に基づく派遣先大学に限る。選 択科目の単位として一括して認定することができる。

薬学部

単位認定を希望する者は、事前に国際交流室に相談すること。

大学院

法学政治学研究科

〈総合法政専攻〉においては、学生が留学先大学で単位を取得した科目の認定には、学生からの単位認定申請にもとづき、学務委員会で判断する。 なお、休学中に外国の大学院において取得した単位についても、認定することは可能である。

医学系研究科

外国の大学院等で修得した単位の認定は、休学 (休学理由が「海外の教育・研究施設において 修学」の場合に限り)および留学の場合に、修 士課程及び博士課程を通じて10単位を越えない範囲で、研究科として認定の可否を行うので、 医学部大学院係へ相談すること。

工学系研究科

外国の大学院に「留学」して、当該大学院において専攻分野に関する授業科目を履修し、修得した単位は、申請により、本研究科における相当する科目・単位として、修士及び博士後期課程を通じて10単位まで認定される。留学先大学で修得した単位は、当該大学院の履修時間及び採点基準を考慮して、本学の基準で単位数及び成績の換算をする(そのまま本研究科と同じ単位数として換算されるとは限らない)。※休学して外国の大学院に「修学」した時の、当該大学院で修得した単位は、本研究科修了単位には認定されない。

人文社会系研究科

留学又は休学期間中に外国の大学の大学院において修得した科目及び単位は、修士課程及び博士後期課程を通じて10単位を限度として、自由選択科目の単位に算入することができる。なお、休学の理由は「海外修学」に限る。

理学系研究科

外国の大学の大学院において専攻分野に関する授業科目を履修し単位を取得した場合、修士課程及び博士後期課程を通じて、10単位を超えない範囲で本研究科において単位を認定することができる。希望者は、渡航前に専攻事務室で手続に関する指示を受けること。

農学生命科学研究科

留学先大学の成績証明書、時間割およびシラバス等を指導教員に提出し単位認定を申請した場合、認めることができる。

経済学研究科

単位の認定・振替は、学生交流協定に基づき「留学」の身分により派遣された場合に限る。教育会議にて適切と判断された場合、本学部の基準で単位数を換算の上、単位の振替・認定が認められる。学則・内規に沿って運用をしているので、

単位の認定・振替を希望する者は、留学生・国際 交流担当チームに事前に相談に来ること。

(2016 04 01 現在)

総合文化研究科

留学又は休学期間中に外国の大学の大学院において取得した単位は、10単位を超えない範囲で本研究科の授業科目及び単位として認定することができる。単位の認定を希望する場合は、留学又は休学期間終了後に総合文化大学院係で必要な手続きをとること。授業科目及び単位の認定は、認定希望者からの申請を専攻等で審査のうえ、研究科教育会議で決定する。なお、本研究科の授業科目及び単位の認定の申請ができる休学の理由は、原則として海外修学のみとする。

教育学研究科

教育上有益と認めるときは、研究科教育会議の議を経て、学生が休学することなく外国の大学の大学院において専攻分野に関する授業科目を履修し、単位を留学又は休学期間中に外国の大学の大学院において修得した科目及び単位は、研究科教育会議の議を経て、本研究科における選択科目に相当する科目及び単位として、修士・博士課程を通じて10単位を超えない範囲で認定することができる。単位の認定を希望する場合は、学生支援チームに予め相談すること。ただし、認定できる単位数は、修士・博士課程を通じて10単位を超えないものとする。

薬学系研究科

単位認定を希望する者は、事前に国際交流室に相談すること。

数理科学研究科

単位認定を希望する者は、事前に数理科学教務係に相談すること。

新領域創成科学研究科

外国の大学院等で修得した単位の認定は、休学 (休学理由が「海外の教育・研究施設において 修学」の場合に限り)および留学の場合に、修士 課程及び博士後期課程を通じて10単位を越えない範囲で、研究科として認定の可否を行うので、 新領域創成科学研究科教務係へ相談すること。

情報理工学系研究科

当該専攻の審査により、10単位を限度として修 了単位に認定することができる。

学際情報学府

留学又は休学期間中に外国の大学の大学院において修得した科目及び単位は、本学府の承認を得ることにより、修士課程及び博士課程を通じて、10単位を越えない範囲で、他研究科科目の単位として、認定することができる。単位認定を希望する者は、事前に学務係に相談すること。

公共政策学教育部

公共政策学教育部において、教育上必要とみとめる 時は、他の大学院において履修した授業科目につい て修得した単位を、修了要件として定める単位数の 2分の1を超えない範囲内で認定することができる。

留学にかかる費用

留学一般について

留学には、国・地域によりますが、一般的に学費・生活費等でおよそ年間200~300万円以上の費用がかかります。高額に思えるかもしれませんが、留学しなくても学費・生活費はかかります。留学しなかった場合の学費・生活費と比較して検討してください。

留学のための奨学金が各種ありますので、情報を集めて利用しましょう。奨学金については34ページをご覧ください。奨学金の選考では成績が考慮される場合が多いため、奨学金の利用を考えている学生は、当然のことながら東京大学での学業にも真剣に取り組むことが大切です。

多くの国で、アルバイトはビザの制限により原則として禁止されています。現地でアルバイトに頼る生活にならないよう、早めに資金の計画を立てることが必要です。

東京大学を通じて申し込むことによるメリット

交換留学の場合は、原則として留学先に授業料を納める必要はなく、東京大学の授業料を東京大学に納めることになります。

交換留学以外でも、東京大学を通じて申し込むプログラムでは、 プログラムの実施機関から東京大学の学生向けの費用の割引や 免除、参加費補助が受けられるケースがあります。適切に情報を集 めれば、経済的負担を減らして留学することが可能です。

交換留学や3ヶ月未満の留学プログラムなど、東京大学を通じて申し込むプログラムに参加する学生には、東京大学・その他支援団体等からの奨学金を支給する可能性があります。奨学金支給の有無や金額は、奨学金支給団体が定める条件(成績・家計基準等)や参加費用、使用可能な財源等を勘案の上、決定されます。詳しくは各プログラムの募集要項を参照してください。

実際の留学費用

実際の留学費用は、プログラムや学生の奨学金受給状況により 異なります。ウェブサイトに記載されている詳細な留学体験記(44 ページ参照)では、各学生の実際に留学に要した費用が報告され ていますので参考にしてください。中には奨学金等を利用し、ほぼ 自己負担額なしで留学を実現した学生もいます。





英語能力試験

留学する場合、留学先大学が求める語学能力の基準を満たす必要があります。語学能力試験は、状況により、受験の予約が取りにくかったりする場合があります。また、新規の留学プログラムの募集の場合、募集開始から締切までの期間が非常に短い場合もあります。締切日までにスコアを取得できない学生が例年見受けられますので、留学を考えている場合は早めに受験し、常に有効期限を満たすスコアを所持しておくようにしましょう。

英語圏の大学の留学にはTOEFL iBTやIELTS (Academic Module)のスコアの提出が一般的です。東京大学本部が担当する留学プログラムでも、TOEFL iBTまたはIELTS (Academic Module)の提出しか認めないプログラムが多くなってきています。

※TOEICや英検は日本の就職活動等では広く用いられますが、大学への留学の際の語学能力試験として認められていないケースも多いため、注意してください。

	TOEFL IBT	IELTS (Academic Module)
概要	米国を始め世界各国の大学等で英語力の証明として利用されており、130を超える国々の9,000以上の大学、機関、その他の団体が TOEFL テストスコアを受け付けている。	英国、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドのほとんどの教育機関で受け入れられており、米国でも広がっている。Academic Module(大学や他の高等教育機関への出願のためのテスト)とGeneral Training Module(一般的な生活、仕事や、移住関係に関わる英語のテスト)の2種類がある。 ※2014年4月より、英国ビザ申請にIELTSスコアが必須となりました。(TOEFL、TOEICは利用不可となりました。)学生ビザが必要となる英国留学を考えている学生は、余裕をもってIELTSの受験をすることをおすすめします。
スコア	0~120(1ポイント刻み)	1.0~9.0(0.5ポイント刻み)
試験日	ほぽ毎週末、年間50回以上	東京は毎月3回程度実施
受験料	US \$230(通常申込時)	25,380円

注:上記の情報は2016年2月現在のものです。

7. 学内でできる国際体験

東京大学では100以上の国と地域出身の約3,000名の留学生が 学んでいます。キャンパス内でも国際体験ができる機会が数多くあ りますので、留学の準備や国際交流の機会として活用しましょう。 以下に一例を紹介します。

IARU Global Summer Program東京大学開講コース

東京大学は、例年7月頃、IARU Global Summer Program により、世界のトップレベル10大学の学生を受け入れる英語プログラムを実施しています。

以下の東京大学において開催されるコースは、学部3年生以上 の本学学生は集中講義として通常の授業と同様に受講可能となる予定です。(教養学部前期課程の学生は履修できません。)海外 大学の学生も東大生との交流を希望しており、また英語での授業 のため留学の準備としても効果的です。

- ·Sustainable Urban Management(工学部開講)
- ·Nanoscience(工学部開講)
- ·Japan in Today's World(法学部開講)

※開講時期・内容については授業カタログを参照のうえ、参加を希望する場合は履修登録時に履修手続を行ってください。他学部聴講となる場合は、所属学部・研究科の規則により履修可能かどうか確認してください。

スペシャル・イングリッシュ・レッスン(SEL)

「スペシャル・イングリッシュ・レッスン(SEL)」は、英会話に慣れたい、英語力を向上させたいという学生向けのプログラムで、東大生であればどなたでも受講可能です。日常会話、プレゼンテーション、ディスカッション、TOEFL対策等さまざまなコースがレベル別に提供され、比較的低価格で受講できます。

外部英語学校から経験豊かなネイティブ・スピーカー (TOEFL講座は一部日本人講師)を招き、毎年春と秋に10週間ずつ本郷キャンパスで開講します。みなさんも週1-2回、集中して英語に取り組んでみませんか。

http://www.sel-ut.com

国際センターによる国際交流活動の例

東京大学国際センター各オフィスでは、さまざまな国際交流活動を実施しています。

(1) 国際センター本郷オフィス:

http://www.ic.u-tokyo.ac.jp/ic/index_j.html

留学生との交流を目的としてFACE(Friendship And Cultural Exchange)プログラム、中国語茶話会、言語交換プログラムなどを実施しています。また、国際交流を目的としたキャンパス内の学生活動の情報提供等も行っています。詳細は以下でご確認ください。

http://www.ic.u-tokyo.ac.jp/ic/face/face02_info02_j.html

(2) 国際センター駒場オフィス

留学生を対象とした各種イベントの他、「ドッヂビー&交流会」のように留学生を含めた全学生・教職員を対象とした国際交流イベ

ントも実施しており、よい交流の場となっています。また駒場エキャンパスでは、毎週火曜日に国際交流を目的としたInternational Gatheringを開催しています。詳しくは、以下のHPをご覧ください。 http://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp

(3) 国際センター柏オフィス:

http://www.ic.u-tokyo.ac.jp/kashiwa/

1対1交流プログラム

相キャンパスで学ぶ留学生、研究等で招聘された外国人研究者 およびその家族と、日本人ボランティアが1対1で交流するため のプログラムを実施しています。基本的に日本語での会話を通 し、日本語の上達、日本の文化・歴史を知ること等を目的としたも のです。詳細は以下でご確認ください。

http://www.ic.u-tokyo.ac.jp/kashiwa/event/onetoone.html

• 英語講座

大学院生及び職員を対象に、平日に柏キャンパス内の教室を利用して英語講座を開講しています。英会話講座、科学技術英語講座の他にTOEFL集中講座やテクニカルライティングセミナーも受講できます。詳細は以下でご確認ください。

http://www.ic.u-tokyo.ac.jp/kashiwa/language/englishlecture.html

グローバリゼーションオフィス (総合文化研究科・教養学部)

グローバリゼーションオフィスでは、大使館員や外国人教員による各国事情のレクチャー及び留学生とディスカッションしながら学ぶセミナー等を開催しています。また、主にPEAKや交換留学プログラム等の英語によるプログラムに属する留学生を対象としたチューターシステムを提供しており、20数名のチューター達が彼らの生活面や学業面のサポートを行っています(チューターの新規募集は学期初めに行っています)。オフィスのある21KOMCEE West地下のラウンジは、授業期間中には様々な学生たちが多言語で交流し賑わいをみせています。

http://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp



8. 留学と就職活動

留学を考える際に、就職活動のことが気になる学生も多いかと思います。 留学経験があるということだけで就職活動で高く評価される時代で はありませんが、「留学を就職活動にプラスに活かす」ことはもちろん できます。留学は自分を見つめ直すよい機会でもあります。 帰国後就職活動であわてないために、参考にしてください。

就職活動のスケジュールはどうなるの?

2017年(2016年度)以降に卒業・修了となる学生から就職活動時期が再び変更になります。(下記の図参照)

会社説明会などが解禁となり企業の採用情報が公開となるのは 学部3年(修士1年)の3月で、2015年度と変わりありませんが、面 接などの選考開始は学部4年(修士2年)の6月からとなり、2015 年度より2ヶ月前倒しとなります。エントリーシートやWebテスト選考 は6月前から実施可能となっています。

外資系やコンサルタントなど独自のスケジュールで採用選考を行う企業もありますので注意が必要です。企業の採用スケジュールとともに、留学先や留学・卒業の時期などそれぞれの事情にあわせて、ご自身の就職活動を考えてみましょう。

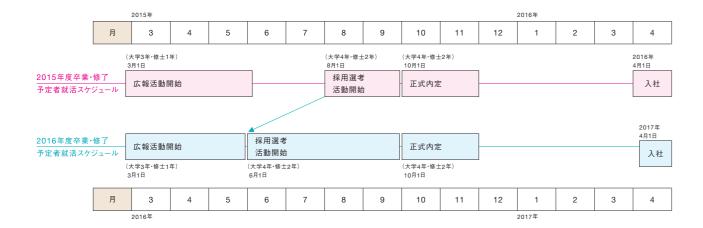
留学中の就職活動はどうなるの?

まずは、就職活動に関する情報収集をしましょう。

海外留学を経験した学生向けの就職情報サイトも充実しています。 資料請求もサイトからできるので、必要にあわせて登録をしておきましょう。

多くの企業がWebサイト上に採用情報を公開しています。海外にいながらエントリーはもちろん、選考まで進める企業もありますし、場合によっては留学中の状況を考慮して選考してくれる企業もあります。行きたい企業が見つかったらコンタクトを取ってみてください。また、採用時期にこだわらず、通年で採用している企業も増えてきています。いずれにせよ、年度によって企業の状況は変わりますので、先輩や友達の話を鵜呑みにせず、かならず企業の情報は自分で確認してください。

日英バイリンガルのための就職イベント(キャリアフォーラム)もボストン、ロンドン、ロサンゼルス、シドニー、ニューヨークで開催されています。日本企業も多数参加していますので、留学先によっては参考にしてください



留学をプラスに・・・?

何を目的として留学するのでしょうか。短期間の語学留学、単位取得の交換留学、学位取得を目的とした留学・・・。留学の目的を達成することは言うまでもありませんが、何回も経験出来ることではありませんので、留学生活を大切にして、友達を作り、毎日を楽しみ、日本では出来ないことをたくさん経験してきてください。

でも「楽しかった」だけで終わらせないでください。そこから学んだこと、考えたこと、その結果、どう行動に移したかなどを書きとめて成長していく自分の記録を残してみましょう。その中で、やりたいことが見つけられるかもしれません。やりたいことにたどり着かなくとも、留学前と留学後でどのように成長したかを表現することで、就職活動に活かすことができるでしょう。留学経験がある場合、企業から「なぜ留学したのか、留学を通じて何を得たか」は必ずといっていいほど聞かれる質問です。留学中もこの問いを時々意識することで結果は変わってくるでしょう。

留学前に大学の窓口を利用しましょう

大学の留学フェアを利用して先輩や留学担当の方などから話をたくさん聞き、より多くの情報を収集しましょう。また、本郷のキャリアサポート室では就職活動のスケジュールをはじめ、留学か進学か迷ったときや、企業分析や自己理解などの相談に専門のキャリアアドバイザーが個別にお応えします。先輩の進路情報もありますので、利用してください。

キャリア相談は予約優先ですので、キャリアサポート室のサイトからお申し込みください。

東京大学 キャリアサポート室

www.careersupport.adm.u-tokyo.ac.jp/

9. 大学院留学

ここまで、交換留学、3ヶ月未満の留学、個人応募のプログラムといった、東京大学在学中の留学について紹介してきました。東京大学では現在、主に在学中の留学をサポートしていますが、卒業後の海外の大学院への留学についても様々な形で情報提供などを行っています。

海外の大学院の種類

海外の大学院には大きく分けてGraduate Schoolと、Professional Schoolの二つの種類があります。Graduate Schoolでは、東京大学在学中に学んだ学術研究をより専門的に深めることができます。一方、Medical, Law や Businessに代表されるProfessional Schoolでは、職業に直結した教育を受けることができます。

大学院のシステム

世界各国で教育システムが異なるように、海外の大学院のシステムは日本とは異なることが多いので十分な情報収集が必要です。

大学院レベルで提供される学位は、修士号 (Master's Degree) と博士号 (Doctoral Degree or Ph.D.) があります。

修士課程は、通常1~2年間の課程です。大きく分けると「アメリカ型」と「イギリス型」に分けられ、その主な特徴は以下の通りです。 アメリカ型: 入学時期は8月末~9月が一般的。修了までに基本的

には2年を要す。ほとんどの大学が2学期制を採用。

イギリス型:入学時期は9月~10月が一般的。通常1年で修了することができる。ほとんどの大学が3学期制を採用。

博士課程は、通常3~8年間の課程です。プログラムによっては、大学の学部課程を修了後、修士課程を経ず、直接博士課程に出願することも可能です。

大学院留学の情報収集

留学先の国や大学によって制度が異なる場合が多く、学士課程時の専攻と異なる分野での留学も可能なため、事前の情報収集が重要です。東京大学では、以下の方法で情報を入手することができます。

●東京大学Go Globalウェブサイト

「留学プログラム」のページの一覧表で、東京大学宛に案内の

あった大学院留学プログラムを随時紹介しています。(以下の表参照)また、「海外留学等奨学金」のページで奨学金に関する情報も 提供しています。(P34参照)

●説明会等の大学院留学関係イベント

東京大学Go GlobalウェブサイトやSNS(P44参照)で、海外大学や各国大使館などが主催する説明会等、大学院留学関係のイベントを紹介しています。東京大学と関係の深い大学については東京大学で説明会が行われる場合もあります。

OUT-OSA

東京大学の卒業生を中心とした団体である、UT-OSAC

(Overseas Study Advisory Community, the University of Tokyo) では、海外大学院留学に関する情報提供や説明会等の開催、およびそのサポートを行っています。

UT-OSACウェブサイト: www.ut-osac.org/index.html

海外大学院留学説明会主催者から

原健太郎: 2010年エ学系航空宇宙エ学科修了 プリンストンプラズマ物理研究所所属 学部卒業後に、就職・国内の大学院進学に加えて、「海外の大学院進学」という選択肢を増やしてみませんか?修士・博士課程への長期留学(2~5年)に関する情報は、短期留学プログラムに比べ、未だに手に入れにくいのが現状です。私たちUT-OSACは、東京大学の現役生・卒業生に向けて、海外にいくことが善であるということではなく、キャリア・人生を考える上で一つの選択肢として海外大学院進学に関する情報を提供していくことを目指しています。年2回(夏・冬)の説明会には、100~400名の情熱のある学生・社会人の方々が参加しています。



Asian Future Leaders Scholarship Program (AFLSP)

アジアの若者の学生交流を促進し、将来のアジアの指導者となる人材を育成するために、本学卒業生であるRonald Chao (曹其鏞) 氏 (1962年工学部卒)により設立されたプログラムです。参加学生に期待されていることは、留学で得た専門知識はもちろんのこと、異文化体験やともに学んだ同窓生など、プログラムで得たものを糧に、将来、異なる文化間の架け橋となることです。本学で対象となるのは、中国・台湾・韓国の各大学(※)へ進学する学生。奨学金支給期間は原則として2年間までで、年間25,000米ドル(授業料、宿泊費、滞在費等のため)が支給されます。奨学生は約3週間のサマープログラムへの参加が義務づけられます。希望する学生は、各大学および奨学金財団へ直接応募する必要があります。詳細はウェブサイトをご参照ください。http://bxai.org/

※清華大学、北京大学、復旦大学、上海交通大学、浙江大学、香港大学、香港科技大学、香港中文大学、国立台湾大学、ソウル大学校

10. 海外留学等奨学金

留学や海外活動、特に欧米や長期での海外滞在には高額な費用がかかります。留学・海外活動の期間や目的などによって対象が異なる 様々な奨学金があります。各自の留学・海外活動の内容に沿った奨学金に応募し支援を受けることが可能です。

奨学金の種類

まず留学・海外活動の期間によって、概ね3ヶ月以上、3ヶ月未満 と奨学金支給の対象が分かれています。さらに奨学金によっては 交換留学、学位取得、その他(インターンシップ、ボランティア等)な どその種類や目的を限定している場合があるので注意しましょう。

また東京大学独自の奨学金だけでなく、外部団体が公募する奨学金にも応募が可能です。外部団体の奨学金には、東京大学を通じて応募するものと、個人で直接応募するものとがあります。

期間	種類·目的
√3ヶ月以上	✓学位取得を目的としない留学 (交換留学、Visiting student programなど)
√3ヶ月未満	√3ヶ月未満の留学 (サマープログラムなど)
	√学位取得を目的とした大学院 留学
	✓その他の海外体験 (インターンシップ・ボランティアなど)

応募方法
✓東京大学への応募(東京大学 独自の奨学金)
/ 市会上尚もほけた月か回仕。

√東京大学を通じた外部団体へ の応募

✓外部団体への直接応募

奨学金の例

留学一般について

留学する場合は、東京大学独自の奨学金および外部団体の奨学金へ応募することができます。東京大学は「東京大学海外派遣奨学事業 海外留学等奨学金」を設け、学生の留学・海外活動を支援しています。留学の期間により、短期(3ヶ月以上1年以内)または超短期(3ヶ月未満)の留学を対象とした奨学金に応募が可能です。

東京大学を通じて応募するプログラムに参加する場合

交換留学や3ヶ月未満の留学プログラムなど、東京大学を通じて申し込むプログラムに参加する学生には、東京大学・その他支援団体等からの奨学金を支給する可能性があります。奨学金支給の有無や金額は、奨学金支給団体が定める条件(成績・家計基準等)や参加費用、使用可能な財源等を勘案の上、決定されます。

さらに、夏季短期留学については「奨学金付き夏季短期留学プログラム」として奨学金の支給を前提としたプログラム参加者募集を行っており(P14参照)、海外有力大学の各種プログラムへ東京大学からの奨学金を得て参加することが可能となっています。

学位取得のため留学する場合

例えば2年間にわたり修士の学位を取得するために留学する場合などは、日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度(大学院学位取得型)ほか様々な外部団体が公募している奨学金に応募できます。

奨学金の探し方

東京大学および外部団体からの主な奨学金の公募情報は、東京大学Go Globalウェブサイト(P44参照)にて随時更新しています。期間・種類別に一覧で掲載していますので自分の留学・海外活動の内容と照らし合わせて探してみましょう。

奨学金の応募締切は留学開始の半年ほど前に設定されている ことがほとんどです。留学や海外活動を考え始めたら、早めに奨学 金についても情報収集すると良いでしょう。

また、「他奨学金の併給を認めない」とする奨学金もあるので、併願する際は十分注意してください。

トビタテ!



官民協働海外留学支援制度



●趣

本制度は、海外での「異文化体験」や「実践活動」を焦点にした留学を推奨することにより、学生時代により多様な経験と、自ら考え行動できるような体験の機会を提供します。そのため、諸外国の大学等といった教育機関での留学だけでなく、学生が自ら定めた明確な目的と意欲的な目標に基づき立案した実践活動の含まれる留学計画を支援することで、個性あふれる多様な派遣留学生のネットワークを形成し、グローバルに活躍できる力の育成と自らの経験を新しい留学文化の醸成に還元してもらうことを目的としています。

●概要

本制度は、我が国の大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)に在籍する日本人学生等に対し、諸外国への留学に必要な経費の一部を奨学金等として支給するとともに、留学経験の質を高めるため、留学の前後に行う研修の提供、及び留学後の継続的な学習や交流の場としての派遣留学生のネットワークの提供を行います。

●支援の対象

支援の対象とする留学の内容(申請コース)は、以下のとおりです。 ①理系、複合・融合系人材コース

- ②新興国コース
- ③世界トップレベル大学等コース
- ④多様性人材コース

●支援の内容(概要)

1) 奨学金月額:12万円~20万円(留学先の地域等により異なる) または10万円

2)留学準備:

- ①事前・事後研修参加費(事前・事後研修参加のための国内 旋費等の一部)
- ②往復渡航費の一部(本制度による留学のための渡航・帰国 のための旅費の一部)
- アジア地域 10万円、左記以外の地域 20万円
- 3)授業料:留学先機関における授業料相当額(学費・登録料)
- ①1年以内の留学 上限300,000円
- ②1年を超える留学 上限600,000円(13か月以上)

主な海外留学等奨学金一覧

- 注)・支援内容は変更されることもあるので、最新情報は東京大学Go Globalウェブサイトを確認すること。
 - ・※1は東京大学独自の奨学金。
 - ・※2は支援期間が1ヶ月~2年の奨学金のため、以下の3ヶ月~1年以上と3ヶ月未満の両欄に掲載している。
 - ・申請先欄が所属部局となっている奨学金は、東京大学による推薦や取りまとめが必要とされるもの。申請方法や締切については各自所属部局窓口へ問い合わせること。
 - ・諸外国の政府または政府関係団体による、その国/地域の大学などへ留学する日本人を対象にした奨学金制度については日本学生支援機構のウェブサイトを参照のこと。
 - ・下記の他、特定の地域在住者対象の奨学金等もあるので、東京大学Go Globalウェブサイトを確認すること。

3ヶ月~1年以上・学位取得を目的としない留学が対象の奨学金(交換留学・Visiting student programなど)

奨学金・プログラム名	支援期間	金額•対象	申請先
※1東京大学海外派遣奨学事業 短期(3ヶ月以上1年以内)海外留学等奨学金	3ヶ月~1年	月額6万円~10万円	所属部局
※2官民協働海外留学支援制度~トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム~	1ヶ月~2年	月額12万円~20万円または10万円、渡航費10~20万円、学費等	所属部局
(公財)KDDI財団 日本人留学生助成プログラム	1年~2年	月額20万円	所属部局
(公財)経団連国際教育交流財団 産業リーダー人材育成奨学金奨学生	1年または2年	学費、生活費等として年間450万円を一律支給	所属部局
(公財)経団連国際教育交流財団 日本人大学院生奨学生	1年または2年	学費、生活費等として年間350万円を一律支給	所属部局
公益信託ヤマハ発動機国際友好基金 海外派遣日本人奨学生	1年以内	月額10万円	所属部局
(公財)佐藤陽国際奨学財団 派遣留学奨学生	6ヶ月~1年	月額8万円、渡航費25万円、交換留学一時金10万円	所属部局
(公財)業務スーパージャパンドリーム財団 派遣留学奨学生	1年以内	月額15万円	所属部局
TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム	1年	150万円	所属部局
(公財)阪和育英会 海外留学奨学生	1年	月額7万円、留学準備金15万円	所属部局
(公財)日本国際教育支援協会 学研災グローバル人材育成奨学金	3ヶ月~1年	月額10万円、往復渡航費	所属部局
(公財)経団連国際教育交流財団 経団連グローバル人材育成スカラーシップ奨学生	8ヶ月以上1年未満	100万円	直接応募
	理工系は6ヵ月以上1年未満		
(独)日本学生支援機構第一種奨学金(海外協定派遣対象)〈無利子貸与〉	海外留学支援制度の	月額3万円~12.2万円·日本学生支援機構海外留学支援制度	本部奨学厚生記
	支援期間と同じ期間	(協定派遣)採用者対象	
(独)日本学生支援機構第二種奨学金(短期留学)〈有利子貸与〉	3ヶ月~1年	月額3万円~15万円	本部奨学厚生記

3ヶ月未満の留学への奨学金

奨学金・プログラム名	期間	金額·対象	申請先
※1東京大学海外派遣奨学事業 超短期(3ヶ月未満)海外留学等奨学金	3ヶ月未満	月額6万円~10万円	所属部局
※2官民協働海外留学支援制度~トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム~	1ヶ月~2年	月額12万円~20万円または10万円、渡航費10~20万円、学費等	所属部局
Friends of UTokyo, Inc.	夏季の数週間	約3,000米ドル アメリカの大学での夏季プログラム等	直接応募
米国の大学での夏季プログラムに参加する日本学生への奨学金			

留学以外の海外活動への奨学金

奨学金・プログラム名	期間	金額·対象	申請先
(公財)交流協会 若手研究者交流事業(科学技術)	(A)2ヶ月間	往復航空券、交通費、滞在費、海外旅行保険	直接応募
(A)個人派遣(長期) (B)グループ派遣(短期)	(B)1週間	科学技術分野での台湾派遣、大学院生対象	
(公財)NEC C&C財団 国際会議論文発表者助成事業	国際会議期間中	12~25万円(開催地等により異なる) 情報処理技術分野での国際会議論文発表、大学院生対象	直接応募
(社)日米協会 米国研究助成プログラム	短期(ただし1週間以上 滞在)	航空費、滞在費、研究費の一部として2,500米ドル以内 米国研究活動、大学院生対象	直接応募
富士ゼロックス株式会社 小林節太郎記念基金 小林フェローシップ	1年間	最高120万円 アジア・大洋州諸国・地域研究活動、博士課程学生対象	直接応募

学位取得を目的とした大学院留学が対象の奨学金

奨学金・プログラム名	期間	金額·対象	申請先
(公財)吉田育英会 日本人派遣留学プログラム	2年以内(審査のうえ1	学校納付金合計250万円以内、生活滞在費月額20万円、扶養	所属部局
	年以内の延長あり)	補助(該当者のみ)、往復渡航費	
(公財)竹中育英会 海外留学奨学生	修士2年以内	大学納付金250万円以内、滞在費·渡航費等年額200万円以内	所属部局
	博士5年以内		
(独)日本学生支援機構 海外留学支援制度(大学院学位取得型)	修士2年以内	月額8.9万円~14.8万円、授業料(年間上限250万円)	所属部局
(大学とりまとめ応募)	博士原則3年以内		
(公財)平和中島財団 日本人留学生奨学生	2年以内	月額15万円~20万円、往復渡航費	直接応募
(公財)中島記念国際交流財団 日本人海外留学奨学生	修士課程:最長2年	奨学金月額20万円、往復渡航費、支度金20万円、	直接応募
	博士課程:最長5年	授業料(留学当初の2年間、年間300万円以内)	
(公財)伊藤国際教育交流財団 日本人奨学生	原則2年以内	生活費月額1,500~2,000米ドル、学費(年間300万円以内)、往	直接応募
		復旅費	
(公財)二十一世紀文化学術財団 海外留学助成金	原則2年以内	授業料2年分、研究活動費360万円 博士課程進学予定者対象	直接応募
(公財)本庄国際奨学財団 海外留学日本人大学院生奨学金	1~5年(学位取得まで	月額15万円~20万円	直接応募
	の最短年限)		
日米教育委員会 フルブライト奨学生 大学院留学プログラム	原則1年	往復渡航費、生活費、授業料等、基本的に全額支給	直接応募
		アメリカ留学	
オーストラリア政府奨学金 エンデバー大学院奨学金	修士2年以内	140,500豪ドル~272,500豪ドル オーストラリア留学	直接応募
	博士4年以内		
フランス政府給費留学生	10ヶ月~1年	滞在費月額615~1,704ユーロ、社会保険料等 フランス留学	直接応募
(独)日本学生支援機構第一種奨学金(海外大学院学位取得型対象)	海外留学支援制度の	月額5万円~12.2万円·日本学生支援機構海外留学支援制度	本部奨学厚生
〈無利子貸与〉	支援期間と同じ期間	(大学院学位取得型)採用者対象	
(独)日本学生支援機構第二種奨学金(海外)〈有利子貸与〉	学位取得の標準修業	月額5万円~15万円	本部奨学厚生
	年限以内		

特集コラム:

Go Globalにチャレンジする東大生に社会が期待しています!

グローバルに活躍する人材の輩出を目指し、学生の留学・海外活動を推進する東京大学の取組みには、卒業生を始めとする社会から広く賛同を頂いています。そうした方々からの貴重なご寄附による奨学金も増えています。ここでは、支援者からのメッセージとともに、寄附奨学金プロジェクトの先輩奨学生からの声も合わせて紹介します。

Go Global奨学基金「Fung Scholarships」

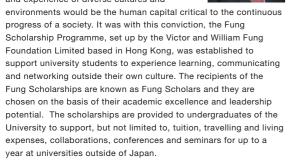
支援者からのメッセージ

東京大学プレジデンツ・カウンシルのメンバーの一人であるVictor K. Fung氏が代表を務める香港のVictor and William Fung Foundationによる、学部生の留学を支援することを目的にしたFung Scholarshipsが2015年度よりスタートしました。Fung氏は、世界の有力大学に対して学生の留学奨学金を支援しており、その奨学生達Fung Scholarsは既に4000名に達しています。日本では東大生が初めてその仲間入りをしました。本奨学金プログラムでは、毎年20名程度の学部生がFung Scholarsとして香港大学や本学との協定校へ派遣されます。

Dr. Victor K. Fung Chairman, Victor and William Fung Foundation Group Chairman, Fung Group

Fung Scholarship Programme:

With the increasing trend of globalisation, graduates with international outlook and experience of diverse cultures and



Since the launch of the Fung Scholarship Programme in Bangladesh, Hong Kong, Japan, mainland China, Singapore, Turkey, UK and USA, there have been more than 4,000 scholarship recipients benefiting from the initiatives. The network is expanding. To maintain and energise the network of Fung Scholars, the Foundation organises an annual Leadership Conference as well as other activities.

City-based local chapters are established in Hong Kong, Singapore, China, New York, Boston and London to provide localised platforms for Fung Scholars in different cities on ideas exchange and give back to their communities. The local chapters are fully initiated

な機会を頂きましたことに、心から感謝申し上げます。

and organised by the Fung Scholars. More information of the Fung Scholarships: www.FungScholars.org.

"We hope the University of Tokyo Fung Scholars will benefit greatly from this Programme, and with wider exposure and experience, share with other Fung Scholars and the community at large the experiences and insights he/she gained from his/her study and/or work experience. We hope through this platform, our Fung Scholars are able to expand their network with other Fung Scholars worldwide, and that they will be able to contribute much more to the community."

Victor and William Fung Foundation Limited

Victor and William Fung Foundation was set up in 2006 in Hong Kong to commemorate the Centenary of the Fung Group. The Foundation is supported by Dr. Victor Fung, Group Chairman and Dr. William Fung, Group Deputy Chairman of the Fung Group with their personal funds to promote (i) leadership development principally through sponsoring programmes in partnership with universities, and (ii) thought leadership principally through think tanks and education institutions.



Fung Scholars Leadership Conference 2015 in Singapo

Fung Scholarsからの声



田原 早耶香 (ファン奨学金第1期奨学生) 経済学部3年(当時)

私は全学交換留学制度を用い、Fung財団からのご支援を頂いてオーストラリア国立大学に2学期間の留学をしました。勉学面では、留学前から関心のあった開発について経済学、政治学、人類文化学など様々な側面から学びました。一つひとつのコースに多くの時間と労力をつぎ込み、時には課題に苦労しながらも、留学中はそれまでの大学生活の中で最も勉強が楽しく感じられた時でした。開発や国際協力について今後もより深く学んでゆきたいという気持ちを確かめられ、同じ分野に関心のある友人と語り合うことで刺激を受けることもできました。また、課外活動として海外ボランティア運営団体に関わり、責任を持った役割を担ったことで自信を得たと共に、そこで得た仲間とより深みのある人間関係を築くことができました。留学を通した一番の成果は、ハードルが高いと感じることでも足取り軽く挑戦してゆけるようになったことです。自信がないから躊躇するのではなく、自信がないからこそ挑戦してみるという心構えが身に付いたように思います。

東大生海外体験プロジェクト

代表発起人からのメッセージ

「東大生海外体験プロジェクト」は、中間層の学部学生にも早い段階で海外企業体験やサマープログラムの経験を積んでもらおうと、各界で活躍する8人の卒業生(以下のお二人のほか、三谷宏幸さん、吉田正樹さん、浅尾慶一郎さん、中居英治さん、山田善久さん、古川聡さん)が発起人となって発足した寄附プロジェクトです。2014年度から年間40~60名、5年で計300名程度の学部学生を海外に送り出す予定です。(P14参照)

藤森氏:アメリカの大学と比べると、東大では卒業生の母校への愛着と支援が足りないと常々感じていたところに、東大生の海外体験をサポートしてもらえないかという話があり、「これだ!」と思って他の卒業生たちに声をかけてプロジェクトを立ち上げました。

森氏: 私は、大学ランキングなどで東大の地位が世界的に落ちていることに危機感を持っていたことから、趣旨に賛同して発起人に加わりました。

藤森氏: 私は27歳で渡米しMBA取得しました。それから日本で5年間働いた後、再度アメリカに渡りましたが、27歳では遅かったと痛感しました。英語で口に出るまでにどうしても時間がかかるのです。渡米が十代のうちだったら事情は違っていたかもしれません。その実体験から、若いうちに海外を体験することは重要だと思っています。それが、自分の殻、コンフォートゾーンから出るきっかけになるはずです。

森氏:「とにかく一度海外を見てこい」と言いたいですね。日本 で同じ価値観の中に浸っていてはコンフォートゾーンから抜け 出すことは難しい。大事なのは、若いうちに海外を体験して多 様な価値観を知ることです。

藤森氏: 「世の中にはこんな違った世界があるのか」というショックや感動を体験してきてほしい。海外には文化や考え方が全く違う人間がいる。 異質なものに触れることによるショックと感動が重要。 そうした体験は、単なる海外旅行ではできません。

森氏:グローバル人材にまず必要なのは異なる考え方に耳を 傾けるという許容力。自分の頭で考え、その考えに基づいて行動し、修正しながらやっていくという実行力も必要です。

藤森氏:変革を起こせる人は、自分のコンフォートゾーンから出て行ける人。グローバル人材になるには、自分の殻を破ればいいのです。海外に出たら、そこは肩書きではなく自分の力で勝負する世界。大学名も同じ。海外では東大卒というだけでは通用しません。海外にはものすごい人達がたくさんいます。海外まで視野に入れて一段上のすごいものを目指す人が増えてきたらすばらしいと思います。

※対談の全文はこちらで読めます。

東京大学基金ホームページ

http://utf.u-tokyo.ac.jp/interview/17.html



東京大学では本ページで紹介したプロジェクトのほか、東京大学基金のもとに「Go Global奨学基金」を立ち上げ、 卒業生や企業へ支援のお願いをしています。本基金の趣旨にご賛同頂いた多くの方々から多大なご寄附を頂き、 東大生のGo Globalを支えて頂いています。

アメリカ留学の選択肢が広がります! "FUTI" (Friends of UTokyo, Inc.)

FUTI(Friends of UTokyo, Inc:東大友の会)は、東京大学の国際化を支援するために卒業生を中心に設立された、アメリカニューヨーク州登録の非営利慈善団体です。プリンストン・プラズマ研究所の栄誉研究員である山田雅章理事長(昭和41年工卒)をはじめとする理事会の役員や諮問委員が寄附を呼びかけ、集まった寄附金をもとに研究助成や奨学金の支給を行っています。

これまでFUTIの奨学金は、アメリカで実施されるサマープログラムやサマーインターンシップへ参加する学生に対して給付されてきました。2015年度には9人の東大生がFUTIのグローバル・リーダーシップを受賞し、アメリカの大学でサマーコースや語学研修コースに参加しました。奨学生からは、「留学で得た友人は、私の世界観、知的好奇心、そして将来設計に素晴らしい影響を与えてくれました」といった感想が寄せられています。

2016年度からは、米国伊藤財団の支援を受け、アメリカへの中長期留学を奨学金給付の対象とする「米国伊藤財団ーFUTI奨学金」が新たにスタートします。米国伊藤財団は伊藤謝恩育英財団と同様に、若き日に学資の提供を得て人生の推進力を獲得した伊藤雅俊氏(株式会社セブン&アイ・ホールディングス名誉会長)が、前途有為な学生を支援するために設立し、運営している財団です。同奨学金の発足により、より幅広い選択肢のなかからアメリカへの留学を検討できる環境になりました。

奨学金の選考は、学業成績、エッセイ、指導教員の推薦状などに基づいて行われますが、それのみでなく、 部活動、ボランティア活動など大学の正課以外でリーダーシップを発揮してきた東大生からの応募を期待して います。(詳細はFUTIのホームページのFAQsを参照)

アメリカへの留学等を考えている方は、ぜひ一度ホームページをご覧ください。(P35参照) http://www.todaitomonokai.org/



イェール大学の英語研修クラスの様子 増田貴都(法学政治学研究科法曹養成専攻専門 職2年)(当時)

留学レポートはこちらから http://www.todaitomonokai.org/?p=5451

11. 海外インターンシップ・ボランティア

海外インターンシップとは

海外の企業、国際機関または教育機関等で、主に自身のスキル アップを目的として研修生として働くことです。

企業・国際機関・教育機関等でのインターンシップ

海外の企業や国際機関・教育機関等での実務を通じて、専門知識やビジネススキルを身につけ、実用的な英語力や国際感覚を養うことが期待されます。有給と無給のタイプがあります。

大学・研究機関等でのインターンシップ

主に理系の学生を対象にした、自身の専門分野の知識やスキルを活かすことのできる科学技術に関係するインターンシップもあります。一定の期間、海外の機関(大学・研究所・企業の研究機関等)で働きます。自身の専門性を高めるとともに、国際社会への適応力を養います。有給(滞在費支給)の場合が多いです。

〈海外インターンシップの例〉

プログラム名	実施国·地域	実施時期	募集締切	備考
IARUサステイナブル	年により異な	8~9月頃	5~6月頃	IARU加盟大学のいず
キャンパス交換学生	る			れかでサステイナブル
				キャンパス活動に従事
香港大学Learn, Live and Intern in China (LLIC)プログラム	香港	6~8月頃	1月頃	2週間の授業と7週間の インターンシップ(香港または中国本土の企業)を 組み合わせたプログラム
ams (オーストリアマイ クロシステムズ) 海外イ ンターンシップ	オーストリア	8月頃~ 1年間	5月~ 6月頃	高性能アナログIC技術の開発・製造分野に携わるインターンシップ・プログラム

- ※他にも多数ありますので、Go Global ウェブサイトを参照してください。
- ※各項目は、あくまで目安として簡潔に記載しています。募集開始、締切、開催内容等は毎年異なりますので最新情報はウェブサイト等で確認してください。

国際ボランティアとは

世界各国における経済・社会の発展、復興への寄与、友好親善・相互理解等を目的として現地で活動することです。

国際ボランティアの魅力

留学をする場合にかかる費用や時間、インターンシップにおいて 求められる語学力や経験と比べると、国際ボランティアの場合は、 より参加しやすくなっている場合もあります。自発的な意思により社 会に貢献する活動を共に行い交流することで、参加者間で文化や 言葉の壁を越えて交流を深めることができます。

国際ボランティアによる渡航先の安全性

各国際ボランティアの実施団体は実施国の安全面に配慮していますが、渡航先には発展途上国が多いということから一概に安全とは言い切れません。実施団体によるオリエンテーションや指示、東京大学の『海外渡航危機管理ガイドブック』などをよく理解し、渡航先ではいつも以上に気を配り安全に過ごせるよう気をつけましょう。外務省ホームページ"各国安全情報"や厚生労働省検疫所ホームページ"海外で健康に過ごすために"等の情報を得ることが必要です。

〈国際ボランティアの例

プログラム名	実施国·地域	実施時期	募集締切	備考
国際教育交換協議会 (CIEE)によるボラン ティアプログラム	プログラムに よる	プログラム による	プログラム による	CIEEが提供するボラン ティアプログラムは約30 カ国で800のプロジェク トと広範囲に及びます。
日本国際ワークキャンプ センター(NICE)による ボランティアプログラム	プログラムに よる	プログラム による	プログラム による	1990年の設立以来、国内・海外94カ国でワークキャンプ等各種事業を実施しています。自分の希望に合ったプログラムを選ぶことができます。

- ※他にも多数ありますので、Go Global ウェブサイトを参照してください。
- ※各項目は、あくまで目安として簡潔に記載しています。募集開始、締切、開催内容等は毎年異なりますので最新情報はウェブサイト等で確認してください。

国際協力学の観点から

国際協力学分野を希望する皆さん、または将来国連等の国際的な機関で国際貢献に携わる職を得たいと思っている皆さんにも海外でのインターン・ボランティアは貴重な体験となることと思います。各種プログラムを通じて座学だけでは得られない現場の実態を知る大変貴重な機会となるでしょう。

- ※他にも多数ありますので、Go Global ウェブサイトを参照してください。
- ※各項目は、あくまで目安として簡潔に記載しています。募集開始、締切、開催内容等は毎年異なりますので最新情報はウェブサイト等で確認してください。

〈国際協力プログラムの例〉

プロクラム名	実施国·地域	実施時期	募集締切	備考
JICA 短期ボランティ (青年海外協力隊)	ア アジア・アフリ カ、中南米・ 大洋州、中東 の約80カ国	1年未満	5月·8月· 11月·2月	協力分野:計画・行政、 公共・公益事業、農林 水産、鉱工業、エネル ギー、商業・観光、人的 資源、保健・医療、社会 福祉の9部門
JICAインターンシップ プログラム (コンサルタ ント型)	1	受入機関 によるが 概ね1ヶ月 程度	10月頃	JICA事業の現場における実務の機会を通じて開発コンサルタント実務及び国際協力に関する理解を深めることができるプログラム
ADB(アジア開発銀行 インターンプログラム	O ADB本社 (マニラ)	プログラ ムによる が概ね半 年以内	プログラ ムによる	ADBでのインターンは プロジェクトベースで実施される。よって携わりたいプロジェクトを見つけるためには定期的な情報収集が必要。

主な海外インターンシップ・ボランティア実施団体

イアエステ(IAESTE)

イアエステは、理系の幅広い分野において質の高い国際インターンシップを実施する世界最大の国際プログラムであり、またそれを行う団体です。国連やユネスコなどと協調して事業を進め、世界100カ国に近くの多数の大学、政府組織、非政府組織、学生ボランティアが活動を支え、1948年の設立以来、総計35万人以上の学生を送り出してきました。その日本国内組織であるイアエステ・ジャパンは、1964年に東京大学で設立されました。

派遣学生は、海外の研究機関の一員として勤務・交流し、国際社会への適応能力を養い、自分の将来ビジョンを明確化します。派遣先はヨーロッパの国々を中心に、アジア、アメリカなど世界各国で、滞在費相当の給与が支払われます。研修期間も多様で8~52週間の幅があり、夏季休暇を利用し休学することなく参加が可能です。あなたも、いま学んでいる(これから学ぶ)専門の力を海外で展開して、世界の人々との交流に挑戦してみませんか。

www.iaeste.t.u-tokyo.ac.jp



国際協力機構(JICA)

国際協力機構(JICA)では、青年海外協力隊などのボランティア事業を実施しています。青年海外協力隊は、途上国の住民と直接交流しながら、その国が抱える課題に取り組み、経済や社会の発展に貢献することを目的としています。募集は春と秋の年2回行われ、派遣国はアフリカ・アジア・中南米、中東地域の約80か国で、活動職種も120以上と多岐にわたります。応募対象者は20~39歳の日本国籍を持つ方です。JICAでは、協力隊員が円滑に活動を行うために、現地事務所にサポートスタッフを配置しているほか、健康面・安全面での支援体制を整えています。また、派遣国との往復渡航費、現地生活費等の経費を負担しています。

開発途上国での活動のなかで度重なる困難や逆境を乗り越えた協力隊員は、その経験を通じて逞しい精神力・忍耐力、コミュニケーション能力を培い、グローバルな視野だけでなく、人間的にも大きく成長して帰国します。近年は、企業や自治体等が協力隊経験者をグローバル人材として高く評価し、積極的に採用する事例が増えています。

www.jica.go.jp/volunteer/index.html



国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部

国際教育交換協議会(CIEE)は、教育を通して国際交流を図り人類の相互理解を促進することを目的に1947年に創設された非営利法人で、国際交流の世界的リーダーです。世界42か国に600名のスタッフを擁し、年間約4万人の若者がCIEEのプログラムに参加しています。日本代表部は、新しい時代のニーズにも応じて、主に大学生を対象とした海外でのボランティアやインターンシッププログラム等を提供しています。また、もうひとつの事業として米国テスト機関であるEducational Testing Service(ETS)の委託を受け、TOEFL®テスト日本事務局として、TOEFLテストの広報やセミナーの開催など受験者や各教育機関に対し、最新の情報を提供しております。

CIEEが提供する海外ボランティアは、教育体験、環境保護、社会福祉、地域サポートなど多岐に渡り、夏あるいは春休みなどを利用して参加できる2~4週間の短期プログラムが中心です。実践的な英語コミュニケーション能力を鍛え、異なる文化やことばをもつ世界の人々との出会いの大切さや感動を実感できるプログラムを提供しています。CIEE東京事務所(最寄駅:表参道又は渋谷)では、ほぼ通年で説明会を実施しておりますので、興味がある方は、説明会(予約不要)にご参加下さい。

www.cieej.or.jp



日本国際ワークキャンプセンター(NICE)

NICEは、「カラフルでヘルシーな世の中」を目指して日本・世界約95ヶ国で各種ワークキャンプを主催・派遣する国際ボランティアNGOです。ワークキャンプとは、その地域の抱える固有の問題を解決するため、世界中から集まった仲間と1~3週間寝食を共にしながら、メンバーや地域の人たちと共に行うボランティア活動です。2014年は1335人の日本人ボランティアが海外・日本各地で活躍しました。カンボジアの学校での子どもへの英語教育、ベルギーでの障がい者スポーツ大会運営の手伝い、また宮城県の南三陸でワカメの収穫手伝いで被災地を応援するプログラムなど、年間約3000のプログラムが用意されています。

「こんなにエキサイティングな経験は初めてで、この経験を終えてすごく自信がついた」「現状を目の当たりにし、今後自分ができること、しなければいけないことを考えていきたい」といった声が参加者から届いています。必要なのは、やる気と行動力、そしてカタコト以上の英語力のみです!国籍の違う仲間とともに生活し、笑い、語り合うからこそ得られる成長が待っています。

www.nice1.gr.jp



12. 体験活動プログラム

体験活動プログラムは、学部学生の皆さんが今までの生活と異なる文化・価値観に触れ、新しい考え方を身に付けることを目指したプログラムです。奨励金の支給等による経済的な支援があり、皆さん自身もプログラムの企画・実施に携わることができます。

これまで、ニューヨークで働くOB・OG訪問など国際体験、院内学級における学習支援などボランティア、北海道の農場・牧場作業など自然体験、学内研究室での研究体験など、正課授業では経験することが難しいさまざまな機会を提供しています。海外で実施する国際交流体験活動プログラムの多くは、夏季・春季休暇期間を中心に1週間~1ヶ月程度活動するものです。自由な時間を利用して、積極的に参加してください。

今年度実施するプログラムについては、体験活動プログラムのウェブサイトをご参照ください。

URL: http://www.u-tokyo.ac.jp/stu01/h19_j.html もしくは、「東京大学 体験活動」で検索

国際交流 体験活動プログラム一覧(平成27年度版)

プログラム名(通称)	内容	開催地	時期	期間
プログプム名(連称)	N점	用惟地	時期	期间
キャンパスツアー・学生交流訪中団	卒業生との交流	中国(北京)	3月	9日
上海および上海近郊の地方都市を中心とした国際交流体験活動	卒業生との交流	中国(上海)	3月	10日
シンガポールでビジネスを学んでみよう	卒業生との交流	シンガポール	8月	7日
医学と平和	医療施設訪問	カンボジア(プノンペン)	8月	7日
新興国インドでのマーケティングリサーチ	インターンシップ	インド(ニューデリー)	8月	5日
TOPS (Tokyo Oxford Programme of Summer)	サマープログラム	イギリス (オクスフォード)	8-9月	1ヶ月
英国ロンドン、欧州ビジネスセンター体験活動	卒業生との交流	イギリス(ロンドン)	8月	6日
VE_italia · Veneto Experience	ワークショップ	イタリア (ヴェネチア)	3月	14日
フランスEcole Polytechniqueでキャリア形成の可能性を追求する	現地学生との交流	フランス(パリ)	3月	1ヶ月
ハーバード大学医学部研究室の訪問・見学	医学系研究室訪問	アメリカ (ボストン)	8月	7日
ボストンベンチャー企業インターンシップ	インターンシップ	アメリカ (ボストン)	8月	10日
Woods Hole Oceanographic Institution	海洋工学系研究室訪問	アメリカ (ウッズホール)	8月	6日
ロサンゼルスで(日系・非日系)移民の多様性を学びドキュメンタリー・フィルムを製作する	映画製作	アメリカ(ロサンゼルス)	8-9月	8日
オーガニック農場でのSustainable agriculture体験	農場体験	アメリカ (プリンストン)	8月、2-3月	12日
有機農場でのCommunity Supported Agriculture体験	農場体験	アメリカ (コネチカット)	8月	12日
アメリカで事業をすることの素晴らしさとチャレンジ	卒業生との交流	アメリカ (シカゴ)	8月	5日
世界の情報発信の中心地、ニューヨークの脈動を体感してみよう	卒業生との交流	アメリカ(ニューヨーク)	8月	8日
日本語教室でのボランティア	日本語指導	日本(本郷キャンパス)	10月-翌年1月	4ヶ月
Documentary research for the French Embassy	インターンシップ	日本(東京都)	9月-翌年1月	5ヶ月
Internship program at Lycee Franco-Japonais de Tokyo	インターンシップ	日本(東京都)	9-12月	4ヶ月

※上記プログラムは平成27年度のものです。平成28年度は実施しないプログラム、上記に記載のないプログラムもありますので、必ず学内説明会、及びウェブサイトで最新情報を確認してください。 各項目はあくまで日安とし、簡潔に掲載しています。

※体験活動プログラムは国際交流体験だけではなく、ボランティア、就労体験、農林水産業、地域体験、フィールドワーク、研究室体験など、様々な活動を含みます。上記表は国際交流体験のみの抜粋です。



体験活動プログラム参加者の声

8月に1週間、ボストンの病院で研究する先生方を訪問し、お話を伺いました。アメリカの研究室はオープンで、研究室同士の壁がなくディスカッションが盛んでした。若くても女性でも研究室を持ちやすい一方で、競争も激しいと感じました。とのタイミングでどのボジションでアメリカへ渡ったのか、様々な体験談を伺い、進路を考える上での参考になりました。また、慣れない土地でGoogle Mapを駆使して移動したり、参加者6人で予約した宿で自炊洗濯をしたり、バスの運転手が道を間違えるハブニングなども含めて、普段はできないような面白く貴重な体験ができました。



(ハーバード大学医学部 研究室の訪問・見学 医学部3年 中村恵子さん ※写真左から3番目)

13. 安全と危機管理

海外では、不慣れな場所で、どこにどのような危険があるのかが十分に把握できないこともあるため、交通事故・窃盗・強盗・詐欺など、様々な被害に遭う可能性が高くなります。危険を感じる状況等をできるだけ避け、常に危険等を予測してから行動するよう心がけてください。

学生が海外渡航する機会が増えている現状、また、今後も増えることが予想されることを受け、東京大学の学生及び教職員のための『海外渡航危機管理ガイドブック』を作成しています。海外に渡航する学生は必ず本ガイドブックを熟読し、海外でのリスクについて事前に知り、十分に準備するようにしてください。

『海外渡航危機管理ガイドブック』

http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/voyage/index.html

保険への加入

海外渡航中の保険については、必ず出発前に出発から帰国まで期間をカバーする海外旅行保険・留学保険等に加入してください。プログラムによっては、公益財団法人日本国際教育支援協会(JEES)の学研災付帯海外留学保険「付帯海学」に加入することが参加の条件となります。(国際本部担当のプログラムについてはこれに該当します)

また、留学先大学等に指定する保険に加入することを求められた場合は、併せて保険に加入してください。

※日本の海外旅行保険・留学保険等は出国後には加入できない ため注意すること。

海外安全危機管理サービス「OSSMA, Overseas Student Safety Management Assistance(オスマ)」

OSSMAは、海外滞在中に困ったことが発生した際に24時間365日・日本語・英語により適切なサポートを提供するサービスです。サービスの内容は、病気や怪我の電話相談、安否確認、ご家族渡航サポート等となっており、東京大学では、海外に渡航する学生向けに試行導入しています。国際本部主催プログラムをはじめ、所属部局によっては、これを義務化していることがあり、また会費は学生負担となっていますこと、ご承知おきください。

詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

http://www.u-tokyo.ac.jp/res03/ossma.html

所属部局での届け出

留学等により海外渡航する際には、渡航目的により「留学許可願」、「海外渡航届」、「休学願」等の提出が必要になります。所属学部・研究科等の担当部署に確認し、必要な手続きを行ってください。

健康管理と安全管理に関する事前準備

『海外渡航危機管理ガイドブック』を参考に、海外において安全、快適に研究・学習等を行っていくうえで欠かせない「健康管理」と 「安全管理」の両面から、渡航前の危機回避対策を必ず行ってくだ さい。(健康診断、歯科検診、常備薬の準備、予防(ワクチン)接種、 渡航先国に関する情報の事前収集、緊急対応リストの携行など)

なお、東京大学の保健センターでは、渡航前医療相談を実施しています。

http://www.hc.u-tokyo.ac.jp/受診のご案内/内科/トラベルクリニック/

日本大使館・領事館への「在留届 | の提出

海外に3ヶ月以上滞在する場合は、必ず、最寄りの日本大使館・領事館に「在留届」を提出してください。(旅券法16条により義務付けられています。インターネットによる提出も可能です。)万一、海外で事件・事故や思わぬ災害に巻き込まれた場合、日本国大使館や総領事館はこの「在留届」をもとに日本人の所在地や緊急連絡先を確認して援護します。※転居・帰国の際にも必ず届け出ること。

また、外務省は、3ヶ月未満の滞在を対象に、2014年7月以降「たびレジ」システムを導入しました。同省の専用サイトに必要事項(旅行日程・滞在先・連絡先)を入力することにより、滞在先の最新情報や緊急事態発生時の連絡メール、あるいは、いざという時の緊急連絡等の受け取りが可能です。東京大学は、この登録を強く推奨します。

外務省ホームページ

http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/index.html

海外渡航中の報告・連絡・相談

海外渡航中、何か問題が生じた場合や相談事があるような場合、また緊急事態等が発生した場合は、速やかにプログラムの担当者や東京大学の担当者に報告・連絡・相談してください。

また、現地で天災、新型インフルエンザ等の感染症、テロ等が発生した場合は、たとえ自分には何も被害がなくても、安否について速やかに東京大学の担当者に連絡してください。なお、家族にも定期的に連絡を取るようにしてください。

その他

海外でも東京大学の学生であることを常に自覚し、行動や振る 舞いには十分気をつけましょう。

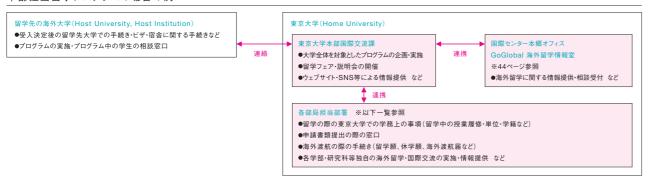
その他、プログラムの担当者、本学所属学部・研究科、指導教員等の指示に従い、安全と危機管理に十分注意してください。



14. 東京大学の留学・国際交流関係部署

東京大学の留学や国際交流に関する部署の体制は大まかに以下のようになっています。内容に応じて、担当部署に報告・連絡・相談などを行ってください。

本部担当留学プログラムの場合の例



各局担当部署一覧(海外留学・国際交流に関すること)

部局名	海外留学・国際交流に関する情報入手先	担当部署
法学部 法学政治学研究科	学部:http://www.j.u-tokyo.ac.jp/kyomu/contents/ryugaku.html 法学部掲示板 大学院(総合法政専攻): http://www.j.u-tokyo.ac.jp/in/shs/contents/jugyo.html 大学院(法曹養成専攻): http://www.j.u-tokyo.ac.jp/in/hys/contents/jugyo.html	学部: 教務係、留学生担当 大学院: 大学院係、留学生担当
医学部 医学系研究科	募集関係の情報: 医学部掲示板・医学系研究科掲示板 学部・研究科の留学等情報: http://koryu.m.u-tokyo.ac.jp/homepage00.html	学部: 教務係、国際交流室 大学院: 大学院係、国際交流室
工学部 工学系研究科	募集関係の情報: 学生・院生用情報ポータルサイト(学生専用・非公開) ※ポータルサイトURLは学部・大学院チームへお問い合わせください。 学部・研究科の交換留学等情報: http://www.oice.t.u-tokyo.ac.jp/index.html	国際交流チーム
文学部 人文社会系研究科	http://www.l.u-tokyo.ac.jp/student.html	学部: 教務係(教務関係相談) 大学院係(手続き等に関すること) 大学院: 大学院係
理学部 理学系研究科	掲示板 (学務課および国際化推進室前) ウェブサイト (NEWS/お知らせ): http://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/current/	教務チーム(全学プログラムについて、単位認定・学籍の学務関係について) 国際化推進室(理学部・理学系研究科プログラム等しついて)
農学部 農学生命科学研究科	http://www.a.u-tokyo.ac.jp/cstudents/index.html	学生支援チーム (教務に関すること: 学部学生担当、大学院学生担当、 留学に関すること: 学生生活担当)
経済学部 経済学研究科	http://www.gaia.e.u-tokyo.ac.jp/is/index-j.html	学部: 教務係、留学生・国際交流担当チーム 大学院: 大学院係、留学生・国際交流担当チーム
教養学部 総合文化研究科	【学部・研究科共通】 http://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp 国際交流支援係の掲示版 国際センター駒場オフィスの掲示板 【前期課程】 http://www.c.u-tokyo.ac.jp/zenki/index.html PEAK生向け: http://www.c.u-tokyo.ac.jp/eng_site/zenki/ 【後期課程】 http://www.c.u-tokyo.ac.jp/eng_site/fas/ PEAK生向け: http://www.c.u-tokyo.ac.jp/eng_site/fas/ 【総合文化研究科】 http://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/index.html GPEAK生向け: http://www.c.u-tokyo.ac.jp/eng_site/graduate/	【学部・研究科共通】国際センター駒場オフィス、グローリゼーションオフィス、国際交流支援係 【前期課程】前期課程係(教務関係相談)、国際化推係(PEAK教務関係相談)、国際化推係(PEAK教務関係相談)、国際研究協力室 【総自文化研究科】総合文化大学院係(教務関係相談)、国際研究協力 国際化推進係(GPEAK教務関係相談)、国際研究協力
教育学部 教育学研究科	教育学部学生支援チームホームページ(学生専用・非公開) http://www.p.u-tokyo.ac.jp/~edudaiga/index.htm	学生支援チーム学部担当・大学院担当(教務に関する 談)、学生支援チーム国際交流担当・国際交流室(留年 全般に関する相談)
薬学部 薬学系研究科	薬学部掲示板·薬学系研究科掲示板 学部·研究科の留学等情報: http://www.f.u-tokyo.ac.jp/~israr/ja/isar/study_abroad.html	国際交流室(留学全般に関する相談) 教務チーム(学務関係の相談)
数理科学研究科	【掲示板】http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/kyoumu_e/liaison_e.html	数理科学教務係
新領域創成科学研究科	募集関係の情報: 新領域創成科学研究科電子掲示板(学生専用・非公開) 研究科独自の留学等情報: http://www.ilo.k.u-tokyo.ac.jp/	教務係(単位認定・学籍等の学務関係) 国際交流室(部局間協定に基づく学生交流)
情報理工学系研究科	留学に関すること全般: http://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/inter_ex/oir/index.shtml 募集や奨学金等の情報: http://info.t.u-tokyo.ac.jp/k_suisin1/oice/haken.html	国際交流室
学際情報学府	学際情報学府ポータルサイト(学府学生専用)	学務係、留学生支援室
公共政策学教育部	募集・奨学金関係の情報: http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/students/board/index.html 公共政策学教育部独自の留学等情報: http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/international/fe_program.htm	公共政策大学院係(留学手続き・全学交換留学に関する事 国際交流担当(部局間協定に基づく学生交流)

15. よくある質問

Q. 留学を希望する場合、いつ頃から準備を始めればよいですか?

【全学交換留学の場合】全学交換留学の場合、およそ留学の1年前に募集が行われますので、その時期に応募ができるよう、早めに語学学習や語学能力試験の受験をすすめておきましょう。6ページ(「全学交換留学募集サイクル」)、26ページ(「留学の計画と準備」)も参照してください。

【短期留学の場合】東京大学の国際本部が担当する夏季短期留学の場合、その年の1月~2月に募集が行われるプログラムが最も多いので、その時期に応募ができるよう、早めに語学学習や語学能力試験の受験をすすめておきましょう。14ページ(「3ヶ月未満の留学」)も参照してください。個人で応募するプログラムも、早いものでは2月~3月に応募が締め切られるものもありますが、中には6月頃まで申し込み可能なものもあります。18ページ(「その他の留学(個人応募での留学など)」)も参照してください。

Q.前期課程の学生も全学交換留学に参加できますか?

できます。但し、前期課程の科目の履修計画に関する留意点や、外国の大学で取得した単位の扱いについては必ず教務課前期課程係(PEAK生は国際化推進係)で事前に説明を受けるようにしてください。

Q.1学期~1年の間留学しても4年間で学部を卒業できますか?

交換留学の場合、期間や時期、単位取得や単位認定の状況によっては、4年で卒業が可能な場合もあります。所属学部に確認の上、計画的に授業履修や留学の準備を行ってください。ただし、単位の取扱いは学部ごとに異なりますので、必ず交換留学の計画段階で所属学部に確認してください。26~29ページ(「留学の計画と準備」「留学等における学籍・単位認定など」)も参照してください。

Q.留学に行く場合、費用はどのくらいかかりますか?

【交換留学の場合】日本で生活するのとあまり変わらない程度の費用で留学することができます。渡航費や生活費などは必要ですが、東京大学に授業料を納めていれば、留学先での授業料は不要となるためです。交換留学の場合、協定校の寮が利用できる場合が多く、奨学金制度も充実していますので、安い費用で留学することも可能です。30ページ(「留学にかかる費用」)も参照してください。【3ヶ月未満のプログラムの場合】費用は、プログラムによって大きく異なります。ほぼ無料で参加できるものから、数十万円のプログラムまで様々ですので、よく調べ、予算に応じて参加プログラムを検討してください。14ページ(「3ヶ月未満の留学」)、18ページ(「その他の留学(個人応募での留学など)」)も参照してください。

Q.全学交換留学の協定校は、今後増えますか?

全学交換留学(国際本部担当)で応募可能な協定校は、年々 増加しており、今後も増やせるよう交渉を行っています。

Q.全学交換留学の学内選考はどのように行われるのでしょうか?

全学交換留学(国際本部担当)の派遣候補者は、各部局からの 推薦を経た上で、東京大学本部にて第一次選考(書類審査)、最 終選考(面接審査)を行い選考しています。最終選考は、第一次選 考を通過した学生のみを対象とします。(2015年度現在)

Q.各プログラムの応募の倍率はどのくらいですか?

Go Globalウェブサイトの「留学の基礎知識」→「統計資料」の ページで、応募状況を公開していますので、そちらで確認できます。 人気が集中し倍率が高くなる留学先もありますので、併願ができる 場合は複数の留学先に併願することをおすすめします。

Q.現在申し込もうと考えているプログラムの詳細や、過去の参加 者の経験を知りたいのですが。

まずは留学先大学が作成しているプログラムのウェブサイトをよく 読んでみてください。また、国際本部が担当するプログラムでは、Go Globalウェブサイトの「留学プログラム」→「留学体験記」のページ に、過去の参加者による詳細な報告書を掲載していますので、そち らも確認しましょう。また、学内選考を通過した場合は、派遣前のオリ エンテーションで過去の参加者と情報交換できる機会があります。

Q.Go Globalのウェブサイトには締切日や提出先が記載されていない場合がありますが、どこで確認できますか?

東京大学では、多くのプログラムで、自分の所属している学部・研究科等(東京大学では、学部・研究科等のことを"部局"と呼びます)に応募書類を提出することになります。締切日や提出先は各部局ごとに異なりますので、Go Globalのウェブサイトには記載していません。各部局の担当部署(42ページ参照)のウェブサイトや掲示板で確認するようにしてください。

Q.英語に自信がなくても参加できる留学プログラムはありますか?

語学を学ぶプログラムもありますので、Go Globalウェブサイトなどでよく調べてみてください。一口に留学といっても、プログラムごとに目的や内容・レベルは様々ですので、自分のイメージだけで判断せず、事前にプログラムをよく調べて、自分に適したプログラムに参加するようにしましょう。

Q.短期留学プログラムなどに参加したいのですが、東大の授業や テスト期間と時期が重なっている場合はどうなりますか?

海外の大学は6月~7月が夏休みのところが多いため、その時期に開催されるプログラムも多くなっています。自分の授業・試験日程などを応募前に十分確認し、参加が可能なプログラムに応募してください。留学のために東大の授業や試験に出席できない場合の扱いについては、留学時に所属する学部や研究科等の判断によるところとなります。留学プログラム等への参加に際して、特別な配慮が行われるとは限りませんので、学部や研究科等の窓口で事前に十分確認し、納得したうえで参加申請を行ってください。

Q. 留学について相談したいのですが、どこで相談に乗ってもらえますか?

現在募集中のプログラムに関する具体的なことについては、所属している学部・研究科の担当部署や、募集要項に記載されている問い合わせ先に確認するようにしましょう。その他、留学に関する全体的な質問・一般的な質問・相談などは本郷キャンパスの海外留学情報室(42ページ参照)で受け付けています。

また、特定の学問分野の留学事情などについては、所属している学部・研究科等の担当部署や、指導教員、先輩などに相談して みるのもよいでしょう。

16. 留学・国際交流に関する情報収集

有意義な留学・国際交流のためには、情報収集が大変重要です。 留学の成否は情報収集が左右すると言っても過言ではありません。 以下のような様々なツールを活用して、主体的に情報を集めましょう。

各学部・研究科の情報

留学の際の東京大学での学務上の事項(留学中の授業履修・ 単位・学籍など)、各学部・研究科等独自の海外留学・国際交流については、各部局の担当部署(42ページ参照)で情報が得られます。

東京大学全体の情報

●東京大学 Go Global海外留学·国際交流情報

①ウェブサイト(通称Go Globalウェブサイト)

本ガイドブックよりさらに詳細な情報や最新の情報が掲載されています。

http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/ (「東大」「留学」で検索)



②Facebook, Twitter

本部国際交流課からの直接の発信で、留学プログラムや奨学金関連の新着情報を掲載しています。募集期間が短いものもありますので、Facebook・Twitterをフォローすれば、有益な情報を迅速に得ることができます。

Facebook http://www.facebook.com/todai.go.global
Twitter http://twitter.com/todai_global (@todai_global)
(Go Globalウェブサイトのアイコンをクリック)



③Facebookグループ「Todai Go Global Network」

東京大学の在学生・教職員・卒業生が海外留学・国際交流に関

する情報を交換できるFacebookの非公開グループ「Todai Go Global Network があります。積極的にご活用ください。

※参加にあたっては本学関係者であることの認証手続きが必要です。参加方法はウェブサイトをご参照ください。

http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/contacts/index.html

(Go Globalウェブサイト→「質問・相談」ページ)

④過去参加学生による体験記

Go Globalウェブサイトには学生による詳細な体験記が掲載されています。経験者の生の声も参考にしましょう。

(Go Globalウェブサイト→「留学プログラム」のページ)

http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/program/experience.html

(Go Globalウェブサイト→ 「海外インターンシップ・国際ボランティア」のページ) http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/internship/ experience.html

●Go Global海外留学情報室

東京大学国際センター本郷オフィスでは、「Go Global海外留学情報室」を開設し、海外留学に関する情報提供・相談などを行っています。開室時間・月~金 10:00-17:30(祝日を除く。臨時閉室日についてはウェブサイトを確認してください)

場所:本郷キャンパス第二本部棟1階 インフォメーションサービスルーム(龍岡門そば)

http://www.ic.u-tokyo.ac.jp/ic/students/goabroad.htm

●留学・国際交流関連イベント

東京大学本部では、年に1回の大規模な留学フェアに加え、年に数回、比較的小規模な留学・国際インターンシップ・海外ボランティア等の説明会を開催しています。担当者や経験者の話を直接聞くことができます。

また、海外大学や各国大使館などが主催する留学関連イベントも多数開催されていますので、目的に応じて参加してみてください。

留学・国際交流関連イベントの情報もGo Globalウェブサイト やFacebook, Twitterなどで紹介しています。

http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/event/ (Go Globalウェブサイト→「イベント」ページ)

留学先大学の情報

留学先大学のウェブサイトを利用し、必要な語学条件や履修可能な授業、費用などについて、自らの責任でしっかり確認することが大切です。

その他

日本学生支援機構のウェブサイトでも、海外留学に関する体系的な情報が得られます。また、各国大使館のウェブサイトも貴重な情報源です。

独立行政法人日本学生支援機構 海外留学情報ページ http://ryugaku.jasso.go.jp

∞ Possibilities lie ahead of you.

一歩踏み出したその先に、可能性は無限にひろがっています

